

出典判明仮名散文関係古筆切一覧稿

小林 強

はじめに

つい最近刊行された、久下裕利氏及び久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』(新典社、平成18年9月)は、両編者により収載の各論文に対する短評が「あとがき」という形で付加されており、「編者」が単なる名目のみではなくその真摯な姿勢に共感を覚えるところ大であるが、実は、稿者も同書に「狭衣物語の古筆切点描」と題する小論を執筆させていただいており、久保木氏の短評において「なお、小林氏には『出典判明仮名散文関係古筆切一覧稿』の発表の予定もあるそうで(「源氏物語関係古筆切資料集成稿」において予告、『本文研究 考証・情報・資料』第六集 二〇〇四年)、古筆切の出典調査の徹底性に定評のある氏の作業だけに、物語関連の古筆切の研究に益するところ大に違いなく、一刻も早い公刊を切望しているところである」との過大な期待の文言を頂戴した。稿者自身も、『本文研究』誌の刊行が「第六集」で途絶したことにより「予告」がそのまま履行出来ずにいる点が気掛かりであったこともあり、前掲の拙稿に「狭衣物語」関連部を、そして、「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44、平成18年11月)に「軍記物語」関連部をそれぞれ「切り売り」のような形で発表したが、遅れ馳せながら、ここに前掲の二論文に既発表分を除いた残りの部分の全貌を公開することとしたい。なお、本稿は稿者の構想する「古筆切の体系的な整理」の中でも、ここ数年最も力を入れてきた部分ではあるものの、恐らく、既刊資料に限定しても、「補遺」の余地が多分に残されていることが確実視され、その内容の乏しさは如何ともしがたく、久保木氏には申し訳ない限りである。

[出典判明仮名散文関係古筆切一覧稿]

《凡例》

- ・本一覧稿は、現時点で出典の判明した仮名散文関係の古筆切を、各作品の通称に基づき伝称筆者ごとに一覧したものであるが、「源氏物語」関連の大半、「狭衣物語」関連の大半、「軍記物語」関連については、「はじめに」に引用した拙稿に譲り本稿では「空項目」を設けるに留めた。
- ・既刊の手鑑の解説などで、出典が解明されるに至っていないものには「☆」を、稿者が図版を確認していないものには「★」をそれぞれ付した。
- ・各切の内容を示す目安としては、典拠として使用した文献を各作品名の表題の横に付記したが、便宜上、比較的流布範囲が広いと判断される文献を使用するよう努めた。
- ・本稿の中でも伝存数が突出して多い「伊勢物語」については、「源氏物語」の場合と同様に冒頭に伝称筆者の「異伝一覧」を設けた。

[安心決定鈔(大正蔵の頁数)]

- ・円如上人－潮音堂書蹟典籍目録8号－122(京都古書籍・古書画資料目録7号－879・大正蔵84巻924頁下段)
- ・蓮如(本願寺)－個人蔵手鑑翰墨城(大正蔵84巻922頁下段～923頁上段)

[和泉式部(岩波古典文学大系『御伽草子』所収本の頁数)]

- ・小一位(量光女)－中村健太郎氏蔵(315頁)

[伊勢物語]

- [異伝一覧] 為家(1)→後鳥羽院、為相(2)→為秀&後伏見院、惟房(1)→経元、雅康(1)→遠忠&頼孝、雅康(2)→柳江、雅親(1)→墨梅、兼好(2)→宗尊親王、兼載(1)→月樵、後小松院(1)→通陽門院、公松(1)→公夏、国冬(1)→国夏、持教(1)→宗砌、実秋(1)→実久、常縁(2)→兼良、親当(1)→専順、正徹(1)→正般、政長(1)→政家、宗鑑(1)→二階堂清巖&支那範永、宗綱(1)→統秋、宗牧(1)→宗全、房通(1)→植家、頼孝(1)→義尚、隆継(1)→隆貞
- ・阿仏尼－(1)古筆学大成23巻－16図(宮内庁保管手鑑・111段)

- ・為家(藤原)－(1)《田原切》某氏蔵(12段・伝後鳥羽院筆・高城弘一氏のご教示による)・高城弘一氏蔵(『古筆切研究 第1集』－40〈表紙にカラー図版掲載〉・『平安の仮名 鎌倉の仮名(出光美術館・平成17年11月)』－64・21段・伝後鳥羽院筆)・古筆学大成23卷－7図(根津美術館蔵一号手鑑・22～23段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－23図(39～40段)・古筆学大成23卷－8図(東京国立博物館蔵・『古筆』219・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寝覚物語絵巻』－22・69段)
 - (2)古筆学大成23卷－9図(個人蔵・『過眼墨宝選集』8－7・4段)
 - (3)古筆学大成23卷－12図(『第2回赤星家所蔵品入札目録』〈東美・大正6年10月8日〉－78為家卿伊勢物語・56～59段・完本)
 - (4)古筆学大成23卷－10図(古筆学研究所此君書屋旧蔵～片桐洋一氏現蔵・『伊勢物語と芦屋』〈芦屋市立美術博物館・平成12年10月〉－64にカラー図版掲載・雁使本)・古筆学大成23卷－11図(古筆学研究所此君書屋旧蔵～田中登氏現蔵・『平成新修古筆資料集 第3集』－69・田中登氏「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版1・雁使本)
 - (5)『甲南氏所蔵品入札目録』(大美・大正11年3月24日)－17(24～25段)
 - (6)出本進氏蔵無銘手鑑(81段)
(図版未確認)芦屋釜117(5段)
- ・為貫(二条)－(1)永青文庫蔵手鑑墨叢99(43～44段)
 - (2)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－34図(65段)
- ・為兼(京極)－(1)『平成新修古筆資料集 第1集』－87(101段)
- ・為広(冷泉)－(1)雁叢78(48～49段)
- ・為氏(藤原)－(1)古筆学大成23卷－13図(石川県美術館蔵手鑑195・119段)

- ・為秀(冷泉)－(1)某氏蔵(45段・高城弘一氏のご教示による)
- ・為相(冷泉)－(1)高城弘一氏蔵(38段)・古筆学大成23卷－17図(宇和島伊達文化保存会蔵手鑑・69段)
 - (2)出光美術館蔵品図録『書』2－22(27段・伝為秀筆)・披香殿5(65段・伝後伏見院筆)・古筆学大成23卷－18図(永青文庫蔵手鑑・107段)
 - (3)披香殿89(94～95段)
 - (4)『水荃27号』(田中登氏「書のある風景(7)」・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』－23・『平成新修古筆資料集 第2集』－100・23段)
- ・為明(二条)－(1)『水荃27号』(田中登氏「書のある風景(7)」・62段)・古筆学大成23卷－46図(個人蔵手鑑碧玉・104～106段)
- ・為頼(上冷泉)－(1)京都龍興寺蔵手鑑30(69段)
- ・為和(冷泉)－(1)玉海143(1段)・筆陣毫戦159(65段)
 - (2)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－38図(71段)
- ・惟房(万里小路)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－22図(36～38段)・潮音堂書蹟典籍目録10号－144(69段・伝経元筆)・栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・78段)
- ・一位局(飛鳥井)－(1)古筆学大成23卷－69図(個人蔵手鑑菅城公・15～16段)
 - (2)古筆学大成23卷－70図(あけぼの〈下〉25・45～46段)
 - (3)京都古書組合総合目録17号－2341(9段)・高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(24段)・今治市河野美術館手鑑藁叢128(102段)
 - (4)架蔵(13～14段)
 - (5)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－8図(14段)
(図版未確認)筆泉(9段・あけぼの〈下〉25の解説による)
- ・越部局－(1)高城弘一氏蔵(勘物部)
- ・応胤(梶井宮)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－29図(52～54段)

《手本》萬代帖57(70段)

- ・家隆(藤原)－(1)古筆学大成23卷－6図(個人蔵手鑑浜千鳥・77～78段)
- ・家良(衣笠)－(1)京都古書籍・古書画資料目録2号－1457(54～55段・55段の地の文欠)
- ・雅康(飛鳥井)－(1)佐々木孝浩氏蔵(21段・伝遠忠筆)・かうなや目録『拾遺鷄肋』4号(平成10年10月)－21(46段)・『宮内庁協力皇室の至宝 東山御文庫御物2』(毎日新聞社・平成11年8月)－68古筆張交六曲小屏風(66～67段)・古筆手鑑4－92(久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－35図・67～68段・伝頼孝筆・前掲切に後接)
 - (2)『29周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成16年11月)－128(47～49段・伝柳江筆)・出本進氏蔵無銘手鑑(107段)
- ・雅綱(飛鳥井・極札不鮮明)－(1)光明皇后始手鑑97(65段)
- ・雅親(飛鳥井)－(1)高城弘一氏蔵(『古筆鑑定必携』－26・15～16段)・京都国立博物館蔵翰墨場119(29～31段・伝墨梅筆)・古今墨林60(66～67段)
 - (2)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－4図(4段)
 - (3)某氏蔵(119～121段・高城弘一氏のご教示による)
 - (4)京都古書研究会特選古書在庫目録10号－1899(勘物部)
- ・雅房(万里小路)－(1)潮音堂書蹟典籍目録10号－146(13～14段)
- ・覚怨(曼珠院)－(図版未確認)京都国立博物館蔵翰墨場86
- ・貫之(紀)－(1)第40回東西老舗大古書市目録(京王新宿店・平成4年2月)－66古筆手鑑(94～95段)
- ・基久(持明院)－(1)藁叢(人)123(43段)
- ・義元(今川)－(1)★山内神社宝物資料館蔵古筆手鑑11(徳満澄雄氏「山内神社宝物資料館蔵『古筆手鑑』(甲)について」〈『高知女子大学紀要 人文・社会科学編』32)・9段)・集古帖116(9段)・M & J バーク財団蔵手鑑藻鏡(14～15段)・文彩帖141(28～29段)・

福地書店和本書画目録平成8年7月号－S 2112(35～38段)・
京都古書籍・古書画資料目録1号－218(61～62段)・古筆手鑑
5－77(65段)・第3回たかしまや古書の街総合目録－96(65
段)・霜のふり葉169(117～118段)・★花月(不明・文彩帖141
の解説による)

- ・義俊(大覚寺)－(1)石川県美術館蔵手鑑185(9～10段)
- ・義晴(万松院)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－18図(25～26段)
- ・堯胤(梶井宮)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－16図(23～24段)・
芦屋釜114(67～68段)
- ・堯恵(堯孝門弟)－(1)八雲102(20～21段)
- ・堯憲(堯孝門弟)－(1)陽明文庫蔵大手鑑(下)123(27段)・高城弘一氏蔵手鑑翰
園百華(63段)
(2)『百萬塔／古筆切展示即売会目録』(八木書店・平成12年
11月)－66(15～16段)・今治市河野美術館手鑑藁叢247
(23～24段)・高城弘一氏蔵(94段・極札欠)
(図版未確認)踊龍台(24～25段・陽明文庫蔵大手鑑〈下〉
123の解説による)・宝島寺蔵手鑑(121段・陽明文庫蔵大手
鑑〈下〉123の解説による)
- ・玉栄(慶福院)－(1)今治市河野美術館手鑑藁叢318(2段)・高城弘一氏蔵手鑑
古今筆鑑(13～14段)・雁叢74(22～23段)・玉海319(27～29
段)・かうなや目録『拾遺鶏肋』4号(平成10年10月)－22(50
段)・集古帖92(59～60段)・福地書店和本書画目録平成8年
7月号－S 2072(72～73段)・★花月(78段・世々の友177の
解説による)・★岡山美術館蔵古筆手鑑(85段・世々の友
177の解説による)・世々の友177(87～88段)・善光寺蔵大
手鑑113(『善光寺本坊 大勸進寶物集』郷土出版社・96
段)・M&Jパーク財団蔵手鑑藻鏡(112～114段)・古筆学
大成23巻－79図(筆者未詳として掲載・個人蔵手鑑・115～

117段)

(図版未確認) 京都国立博物館蔵翰墨場71

- ・具起(岩倉)－(1)思文閣古書資料目録137号－78(思文閣古書資料目録194号－275・10段)
- ・慶福院女《前掲の伝玉栄筆切とは別種》－(1)栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・16段)
- ・兼好(吉田)－《越前切》古筆学大成23卷－19図(陽明文庫蔵大手鑑〈下〉117・2段・雲紙)・古筆学大成23卷－20図(個人蔵手鑑碧玉・『布留鏡』1卷3号－11・8～9段・雲紙)・常楽寺蔵(米田真理子氏「古筆切の中の『仁和寺華嚴院弘融』のこと－伊賀常楽寺蔵兼好・頓阿・弘融三幅対をめぐって－」〈『詞林』31〉・9段・素紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－39図(『村瀬庸庵愛蔵品入札並売立目録』〈名美・昭和10年2月8日〉－84・9段・雲紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－21図(翰墨城289・16段・雲紙)・『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』－58(『鶴見大学図書館蔵貴重書80選 和歌と物語』－8・20～21段・素紙)・古筆学大成23卷－22図(春敬記念書道文庫蔵手鑑筆鑑・22段・素紙)・古筆学大成23卷－26図(宇和島伊達文化保存会蔵手鑑・22段・素紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－23図(藁叢〈天〉98〈出光美術館蔵品図録『書』3－12(『平安の仮名 鎌倉の仮名(出光美術館・平成17年11月)』－61)に藁叢(天)98と同一箇所(の素紙の模写切あり)・23段・素紙)・古筆学大成23卷－24図(個人蔵手鑑[重文]・24段・雲紙)・古筆学大成23卷－25図(個人蔵手鑑筆林翠露・24～25段・雲紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－27図(個人蔵手鑑もしの関・28段・雲紙)・古筆学大成23卷－28図(根津美術館蔵二号手鑑・38～39段・雲紙)・古筆学大成23卷－29図(個人蔵手鑑毫戦・39段・雲紙)・古筆学大成23卷－30図(見ぬ世の友224・41～42段・雲紙)・藻塩草214(43段・雲紙)・高城弘一氏蔵(61～62段・雲紙)・平成15年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－64(京都古書籍・古書画資料目録5号－11・67～68段・雲紙)・古筆学大成23卷－31図(金沢市中村記念美術館蔵古筆手鑑135・68～69段・素紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－32図(個人蔵・69段・素紙)・久曾神昇氏『物語古

筆断簡集成』第1部－37図(69段・雲紙・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－33
図(個人蔵・71～73段・雲紙)・長崎勝憲氏蔵名公筆蹟(模写・79～80段)・古筆
学大成23卷－34図(あけぼの〈上〉118・82段・素紙)・古筆学大成23卷－40図
(『布留鏡』2巻1号－7・84～85段・素紙)・古筆学大成23卷－41図(『村瀬庸庵愛
蔵品売立目録』〈名美・昭和11年1月24日〉－27頁・85～86段・雲紙・前掲切に後
接)・高まつ帖149(88～90段・雲紙)・古筆学大成23卷－35図(個人蔵手鑑藻塩
草・94段・雲紙)・古筆学大成23卷－36図(静嘉堂文庫『日本の書跡』－69・96
段・素紙)・続国文学古筆切入門80(101～102段・素紙)・古筆学大成23卷－37
図(永青文庫蔵手鑑墨叢・106～107段・素紙)・古筆学大成23卷－38図(講談社
刊『日本書道大系』・107～108段・素紙)

(1)古筆学大成23卷－42図(東京国立博物館蔵十三号手鑑・59～
60段)

(2)古筆学大成23卷－43図(個人蔵手鑑古筆帖・65段)・久曾神昇
氏『物語古筆断簡集成』第1部－33図(潮音堂書蹟典籍目録3
号－181・65段・伝宗尊親王筆・前掲切に後接)

(3)某氏蔵(10段+13段➡途中に継目なし、抄出本か・高城弘一
氏のご教示による)

・兼載(猪苗代)－(1)披香殿333(37～38段)・集古帖130(46段)・M&Jパーク財
団蔵手鑑藻鏡(50～51段)・古今墨林198(63～65段)・慶安
手鑑137(67段・伝月樵筆)

・兼俊(水無瀬)－(1)披香殿122(44段・絵詞か)

・兼如(猪苗代)－(1)第56回東西老舗大古書市出品目録抄(京王新宿店・平成18
年7月)－A923(40～41段)

・兼輔(鷹司)－(1)古筆学大成23卷－78図(東京国立博物館蔵十二号手鑑・23
段)

(2)架蔵(62～63段)

・元信(武田)－(1)慶安手鑑130(1段)・京都古書籍・古書画資料目録7号－3427
(35～37段)

- ・後小松院－(1)古筆学大成23巻－50図(都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖・9段)・思文閣古書資料目録188号－305(9段・前掲切に後接・伝通陽門院筆)・古筆学大成30巻－図版補遺135(八木書店古書目録51号〈平成10年12月〉－278・42～43段)
 - (2)京都古書籍・古書画資料目録1号－263(33～34段)
 - (3)思文閣古書資料目録173号(善本特集第13輯)－28古筆手鑑敬愛帖(50段・特異な異本)
- ・後醍醐天皇－(1)古筆学大成23巻－44図(個人蔵手鑑・96～97段)➡あけぼの(下)120収載の伝宗牧筆切と完全に一致しており、いずれかが模写であるとは思えない程に瓜二つである。如何なる事情で古筆学大成が当該切を「伝後醍醐天皇筆伊勢物語切」として配当したかについては分明でないが、あけぼの(下)120収載切と同一の切であると判断して、当該項目を削除して「宗牧(1)」に移項する。
- ・後土御門院－(1)古筆学大成23巻－66図(個人蔵手鑑浜千鳥・70～71段)
- ・勾当内侍(後土御門院)－(図版未確認)エール大学図書館蔵手鑑(24段・片桐洋一氏『伊勢物語の研究』－243頁参照)
- ・後奈良院－(1)京都古書籍・古書画資料目録1号－243(78段・当該切の出典の解明は佐々木孝浩氏のご教示による)
- ・後二条院－《散書・手本》栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・82段)
- ・後柏原院－(1)高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(12～13段)
 - (2)京都古書組合総合目録12号－136(1～2段)
- ・後陽成院－《散書・手本》あけぼの(上)26(29段)・高まつ帖31(68段)
- ・護道(内藤)－(1)東山御文庫蔵手鑑毫海(16～17段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－9図(17段・前掲切に後接)・栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・19段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－27図(40段)・第56回東西老舗大古書市出品目録抄(京王新宿店・平成18年7月)－A917(54段)・京都古書

- 籍・古書画資料目録5号－1384(65段・極札欠)
- (2)思文閣墨蹟資料目録別冊23号－147(64～65段)
- (図版未確認) 井上宗雄氏蔵手鑑17(小島孝之氏「井上宗雄氏所蔵古筆手鑑について」〈『立教大学日本文学』68〉・5段)
- ・公夏(橋本)－(1)東山御文庫蔵手鑑(39段)・佐々木孝浩蔵(65段)・京都龍興寺蔵手鑑42(101段)・★宝島寺蔵手鑑(103～104段・京都龍興寺蔵手鑑42の解説による)
 - ・公国(三条西)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－1図(1段)
 - ・公松(梅允・橋本庶流)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－2図(1段)・高城弘一氏蔵(16段)・思文閣墨蹟資料目録別冊23号－154(27～30段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－21図(32～33段)・京都古書籍・古書画資料目録7号－3425(43段)・高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(62段・伝公夏筆)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－47図(88～89段)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(116～117段)
 - ・公敦(転法輪三条)－(図版未確認)宝島寺蔵手鑑(不明・文彩帖50の解説による)
 - ・公任(藤原)－(1)古筆学大成23卷－4図(個人蔵・『古筆』83・110～111段)
 - ・国冬(津守)－(1)古筆学大成23卷－47図(個人蔵手鑑・9段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－17図(24段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－26図(40段)・架蔵(90段・極札欠)・古筆学大成23卷－48図(藁叢〈人〉109・124～125段・伝国夏筆)
- (2)国文学古筆切入門80(73～75段)
- ・濟繼(姉小路)－(1)京都古書籍・古書画資料目録7号－3429(44～45段)
 - ・讚岐(二条院)－(1)藤井隆氏蔵(春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉－19・60段・非定家本)
 - ・持為(冷泉)－(1)平成17年度東京古典会古典籍展観大入札会目録－42古筆巻

- 物(30～31段)・某氏蔵(82段・高城弘一氏のご教示による)・
久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－36図(68～69段)・藁
叢(天)56(94段)
- (図版未確認)横山家蔵古筆手鑑26(久保木哲夫氏「未刊手鑑
『古筆切一覧』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98〉・107段)
- ・持教(三井寺)－(1)高城弘一氏蔵(16段)・京都古書組合総合目録17号－2347
(41段・伝宗砌筆)
 - ・慈円－(1)蓬左54(58段)・『水荃27号』(田中登氏「書のある風景(7)」・『平成新修
古筆資料集 第3集』－48・60～61段)・『鶴見大学蔵貴重書展解説図
録 古典籍と古筆切』－58(96段)
 - ・実顕(阿野)－(図版未確認)芦屋釜109(56～58段)
 - ・実秋(清水谷)－(1)高城弘一氏蔵(2～3段)・『水荃27号』(田中登氏「書のある
風景(7)」・『平成新修古筆資料集 第2集』－27・9段)・思文
閣墨蹟資料目録320号－64(22段)・★永青文庫蔵手鑑(70
段・あけぼの〈下〉38の解説による)・高城弘一氏蔵(71～72
段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－39図(74～75
段)・古筆手鑑4－82(久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1
部－42図・78～79段)・高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(83段)・
あけぼの(下)38(83～84段)・高城弘一氏蔵(121～123段)・
石川県美術館蔵手鑑88(125段・伝実久筆)
 - ・実世(三条西)－(1)高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(21段)・福地書店和本書画目
録平成8年7月号－S 2064(21段)・『九州日置島津家御所蔵
品入札目録』(東美・昭和3年11月26日)－42古筆手鑑(94～
95段)
- (2)古筆手鑑4－40(久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－
24図・39～40段)・某氏蔵(40段・前掲切に後接・極札欠・高
城弘一氏のご教示による)・筆陣毫戦139(54～55段)・栗原
蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・62段)・玄海樓ホー

ムページ(69段・極札欠)

- ・実満(花園)－(1)光明皇后始手鑑52(84段)
- ・実隆(三条西)－(1)新春蔵開き第2回古書市出品目録抄(京王新宿店・平成14年1月)－7(14段)
- ・寂恵(安倍)－(1)古筆学大成23巻－49図(個人蔵手鑑・23段)
- ・周興(堯孝門弟)－(1)『百萬塔／古筆切展示即売会目録』(八木書店・平成12年11月)－65(117～118段)
- ・重治(田向)－(1)島根美保神社蔵手鑑236(10～12段)
- ・俊孝(北小路)－(1)思文閣墨蹟資料目録別冊23号－160(24段)
- ・俊成(藤原)－(図版未確認)『旧笠間藩主牧野子爵家蔵品観樹將軍遺愛品入札目録』(東美・昭和4年10月14日・71～72段)
- ・俊頼(源)－(図版不鮮明)『北摂岸上家並某家蔵品大入札会展観目録』(大美・昭和11年2月10日)－129(4段)
- ・尚通(近衛)－(1)平成17年度東京古典会古典籍展観大入札会目録－77御手鑑(37～39段)・東京国立博物館資料館蔵諫早家崇氏蔵手鑑写真(39段)・京都古書組合総合目録12号－33(95段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－51図(101～102段)・思文閣墨蹟資料目録別冊21号－114(116～119段)
(図版未確認)横山家蔵古筆手鑑10(久保木哲夫氏「未刊手鑑『古筆切一覽』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98〉・33～34段)
- ・紹巴(里村)－《歌集》志満家古書目録平成8年秋号－654(26～28・34)
- ・浄弁(和歌四天王)－(1)京都古書組合総合目録12号－31(71～73段)
- ・常胤(妙法院)－(1)『29周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成16年11月)－137(102～103段)
- ・常縁(東)－(1)古筆学大成23巻－51図(個人蔵手鑑・15～16段)・京都古書組合総合目録15号－1315(22～23段)・古筆学大成23巻－62図(根津美術館蔵一号手鑑・23段・前掲切に後接)・東山御文庫蔵手鑑毫海(23段)・古筆学大成23巻－52図(個人蔵手鑑・23～24段)・『阪

急古書のまち古書目録』〈平成17年6月〉中尾松泉堂書店モノクロ版－30(25～26段)・古筆学大成23卷－53図(個人蔵手鑑・40段)・福地書店和本書画目録平成8年7月号－S 2097(44～45段)・芦屋釜90(65段)・古筆学大成23卷－54図(個人蔵手鑑深懷帖・67～68段)・集古帖112(69段)・続国文学古筆切入門81(82段)・古今墨林165(96段)・古筆学大成23卷－63図(仁和寺蔵手鑑・98～99段)・古筆学大成23卷－55図(弥彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・100～101段)・披香殿301(101段)・京都古書籍・古書画資料目録4号－472(120段)

(2)古筆学大成23卷－56図(個人蔵手鑑古筆帖・18段)・京都古書籍・古書画資料目録4号－468(小島孝之氏『古筆切で読むくずし字練習帳』〈新典社・平成18年6月〉－45頁・24～26段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－25図(39～40段・伝兼良筆)・古筆学大成23卷－57図(個人蔵手鑑・41～42段)・筆林(裏)30(65～66段)・古筆学大成23卷－58図(個人蔵手鑑もしの関・66～67段)・古筆学大成23卷－59図(個人蔵手鑑・67～68段)・水莖72(79段)・★出光美術館蔵手鑑聯珠草林(80～81段・筆林〈裏〉30の解説による)・『平成新修古筆資料集 第2集』－55(82段)・古筆学大成23卷－60図(個人蔵手鑑もしの関・90～92段)・古筆学大成23卷－61図(個人蔵手鑑百千鳥・94段)

- ・常和(東)－(1)今治市河野美術館手鑑藁叢294(12段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－15図(23段)・M&Jパーク財団蔵手鑑藻鏡(44段)・披香殿302(47～48段)・古筆学大成23卷－68図(京都国立博物館蔵翰墨場109・55～57段)・集古帖113(75～76段)
- ・心敬(十住心院)－(1)石川県美術館蔵手鑑269(4～5段)・架蔵(37段)・高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(87段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑G(104～106段)
- ・親泰(蛭川雅楽介)－(1)文車43(64～65段)

- ・親長(甘露寺)－(1)古筆学大成23卷－65図(個人蔵手鑑百千鳥・9～10段)・田中重太郎氏旧蔵資料の内(63段)・京都古書組合総合目録17号－1700(67段)・国文学研究資料館蔵(山本家旧蔵古筆・古版資料の内・98～99段)・聖護院蔵大手鑑(117～120段)
- ・親当(蛭川)－(1)第3回たかしまや古書の街総合目録－572(22段)・明眼院蔵手鑑(41段・伝専順筆)
- ・正広(日比)－(1)福地書店和本書画目録平成8年7月号－S 2058(天福本奥書)
- ・正徹(招月庵)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－11図(21段・伝正一般筆)・藁叢(人)129(37段)・永青文庫蔵手鑑墨叢222(37～38段)
- ・正能(池田)－(1)思文閣古書資料目録115号－20手鑑(102段)
- ・西行－(1)高城弘一氏蔵(4段)
 - 《歌集》古筆学大成23卷－80図(醍醐寺蔵大手鑑・99～100)・古筆学大成23卷－81図(『県下中島郡大和村某大家所蔵品売立目録』〈名美・大正11年1月17日〉・131～132)・古筆学大成23卷－82図(個人蔵・145～146)
- ・政長(花山院)－(1)永青文庫蔵手鑑墨叢71(18～19段)・京都古書籍・古書画資料目録7号－3424(21段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－13図(22段・伝政治家筆)・玉海64(45段)・古筆学大成23卷－71図(個人蔵手鑑・58段)・古筆学大成23卷－72図(白鶴美術館蔵手鑑255・65段)・『浄照坊蔵古筆切集』－60(69段)・高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(69段)・古筆学大成23卷－73図(あけぼの〈下〉20・69～71段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－40図(76～77段)・★エール大学図書館蔵手鑑(106～107段)・片桐洋一氏『伊勢物語の研究』－243頁参照)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(114～115段)
 - (図版未確認)曾根誠一氏蔵模写手鑑表20(曾根誠一氏・伊豆

野町子氏「〈資料紹介〉架蔵手鑑の和歌・物語切抄稿」〈『九州女子大学紀要』22-1〉・33～34段)

- ・宣慶(葛岡)－(1)高城弘一氏蔵(52～54段)
- ・宣房(万里小路)－(1)新春蔵開き第3回古書市出品目録抄(京王新宿店・平成15年1月)－622(62段)
- ・前久(近衛)－(1)藁叢(人)11(23～24段)
- ・素眼(四条道場)－《散書・手本》★筆の海(16段・京都龍興寺蔵手鑑60の解説による)・京都龍興寺蔵手鑑60(69段)
- ・素珊(東)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－5図(6段)・慶安手鑑134(9段)・古筆学大成23巻－64図(あけぼの〈下〉129・23段)・京都古書籍・古書画資料目録7号－3422(41～42段)・京都古書組合総合目録15号－1792(50段)・永青文庫蔵手鑑墨叢257(65段)・栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・80～81段)・雁叢27(『広岡家蔵品入札目録』〈大美・昭和3年6月18日〉－77古筆手鑑鴈叢・81段)・★宝島寺蔵手鑑(109～110段・あけぼの〈下〉129の解説による)
- ・曾衣(飛鳥井庶流)－(1)金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(69段)
- ・宗伊(杉原)－(1)東山御文庫蔵手鑑毫海(5段)・某氏蔵(14段・極札欠・高城弘一氏のご教示による)・善光寺蔵大手鑑44(『善光寺本坊 大勧進寶物集』郷土出版社・16段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑A(60段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－44図(83段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－50図(98～99段)
- ・宗鑑(山崎)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－3図(3～4段)・池尾和也氏蔵(45段・伝二階堂清巖〈岩〉筆)・藁叢(人)137(58段)・伝支那範永筆)・かうなや目録『拾遺鶏肋』4号(平成10年10月)－61(72～74段・極札判読不能)
- ・宗高(細見)－(1)思文閣古書資料目録137号－77(2面・75～77段)

- ・宗綱(松木)－(1)玉海359(4段・伝統秋筆)・古筆学大成23巻－67図(京都国立博物館蔵翰墨場66・嘉右衛門の極札は「松木殿」とのみ・16段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－19図(30～32段・伝統秋筆)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－45図(83段・伝統秋筆)・思文閣墨蹟資料目録別冊23号－155(88～90段・伝統秋筆)→「統秋」が「本伝」であることは分明であるが、便宜上「古筆学大成」の分類に従っておく
- ・宗甫(安達)－(1)本願寺蔵手鑑烏跡鑑(14段)・集古帖140(16段)
- ・宗牧(孤竹斎)－(1)京都古書籍・古書画資料目録7号－3428(23段)・潮音堂書蹟典籍目録10号－145(24段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－28図(41段・伝宗全筆)・★エール大学図書館蔵手鑑(64～65段・片桐洋一氏『伊勢物語の研究』－243頁参照)・永青文庫蔵手鑑墨叢292(78段)・あけぼの(下)120(96～97段→古筆学大成23巻－44図の伝後醍醐天皇筆伊勢物語切から移項)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－52図(105～107段)
 - (2)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－7図(9段)
- ・宗柳(肖柏門弟)－(1)京都古書組合総合目録10号－475(41～42段)
- ・尊円(青蓮院)－(1)続々国文学古筆切入門76(田中登氏「書のある風景(7)」〈『水荃27号』〉・13～14段)・高まつ帖121(15～16段)・玉海300(21段)・高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(21段)・長崎勝憲氏蔵名公筆蹟(模写・52～54段)・古筆学大成23巻－45図(東京国立博物館蔵手鑑桃花水・58段)・高城弘一氏蔵(『古筆鑑定必携』－13・78～80段)・★竹本省三氏蔵手鑑(94段・続々国文学古筆切入門76の解説による)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－49図(98～99段)
- ・尊応(青蓮院)－(1)柏林社書店古書目録平成15年4月号－14(20段)
- ・尊證(青蓮院)－(1)志満家古書目録平成8年秋号－658(47～49段)

- ・ 尊鎮(青蓮院)－《手本》東山御文庫蔵手鑑(102段)・陽明文庫蔵大手鑑(上)94
(102段・前掲切に後接)
- ・ 尊範－(図版未確認)横山家蔵古筆手鑑112(久保木哲夫氏「未刊手鑑『古筆切
一覽』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98〉・9段)
- ・ 沢庵(大徳寺)－(1)佐々木孝浩氏蔵(114～115段)
- ・ 智仁親王－(図版未確認)芦屋釜16(60～61段)
- ・ 澄秀(岩山)－(1)かうなや目録『拾遺鶏肋』6号(平成11年8月)－019(57～58
段)
(図版未確認)エール大学図書館蔵手鑑(67段・片桐洋一氏『伊
勢物語の研究』－243頁参照)
- ・ 通秀(中院)－(1)集古帖80(4段)
- ・ 定家(藤原)－(1)『名古屋市小出庄兵衛氏所蔵品入札目録』(大美・大正4年6月
15日)－22(99段・雲紙)
(2)福地書店和本書画目録平成9年12月号－S 1810(4段)
(図版未確認)芦屋釜1(37段)
《歌集》古筆学大成23卷－83図(個人蔵手鑑古筆之帖・高城弘
一氏現蔵・160・55～57)
- ・ 定熙(花山院)－(1)古筆学大成30卷－図版補遺136(111～113段)
- ・ 貞徳(松永)－(1)集古帖145(勘物部)・東山御文庫蔵手鑑毫海(勘物部)
- ・ 貞敦(伏見宮)－(1)玉海40(9段)
- ・ 冬光(烏丸)－(1)今治市河野美術館手鑑藁叢116(9段)
- ・ 道家(九条)－(1)古筆学大成23卷－15図(古筆学研究所此君書屋蔵手鑑・9段)
- ・ 道興(聖護院)－(1)高城弘一氏蔵(6段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑J(24段)・岩
国吉川家蔵翰墨帖70(46～47段)・久曾神昇氏『物語古筆断
簡集成』第1部－32図(65段)・潮音堂書蹟典籍目録10号－
143(77段)・東山御文庫蔵手鑑(78段)・久曾神昇氏『物語古
筆断簡集成』第1部－48図(97～99段)
- ・ 道晃(聖護院)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－6図(8～9段)

- ・道寸(三浦)－(1)東山御文庫蔵手鑑毫海(83段)
- ・道増(聖護院)－(1)栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・43～45段)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(45～46段・前掲切に後接)・水荃114(58段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－43図(81～82段)・今治市河野美術館手鑑藁叢214(83段)・岩国吉川家蔵翰墨帖71(101～102段)
- ・道澄(聖護院)－(1)あけぼの(下)84(39段)
- ・頓阿(和歌四天王)－(1)玄海樓ホームページ(62～63段)・玄海樓ホームページ(64～65段)・玄海樓ホームページ(65段)
- ・邦輔(伏見宮)－(図版未確認)芦屋釜73(40段)
- ・坊門局－(1)古筆学大成23巻－5図(個人蔵手鑑・10～12段)
 - (2)国文学古筆切入門79(春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉－20・藤井隆氏「王朝物語の古筆切－その地位と書写様式を中心に－」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の new 研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版④・87段)
- ・房通(一条)－(1)京都龍興寺蔵手鑑9(9段・伝植家筆)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－20図(30～32段・伝植家筆)・平成元年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－54古筆手鑑(58～59段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－46図(87段)(図版未確認)横山家蔵古筆手鑑179(久保木哲夫氏「未刊手鑑『古筆切一覧』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98〉・97段)
- ・墨梅(平田)－(1)島根美保神社蔵手鑑256(92～93段)
- ・民部卿局－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－14図(22～23段)
- ・明融(高雲軒)－(1)古筆学大成23巻－74図(弥彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・6段)・★宝島寺蔵手鑑(14段・石川県美術館蔵手鑑221の解説による)・M&Jパーク財団蔵手鑑藻鏡(23～24段)・石川県美術館蔵手鑑221(38段)・本願寺蔵手鑑鳥跡鑑(48～

- 50段)・光明皇后始手鑑83(50段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－30図(59～60段)・古筆学大成23卷－75図(個人蔵手鑑百千鳥・65段)・★花月(66～67段・石川県美術館蔵手鑑221の解説による)・古筆学大成23卷－76図(筆陣毫戦107・82段)・今治市河野美術館手鑑藁叢250(117段)・古筆学大成23卷－77図(都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖・118～119段)
- ・ 幽齋(細川)－(1)『30周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成17年11月)中尾松泉堂書店モノクロ版－154(5段)
 - ・ 陽光院－(1)小島孝之氏『古筆切で読むくずし字練習帳』(新典社・平成18年6月)－33頁(16～17段)
(2)聖護院蔵大手鑑(9段)
 - ・ 頼孝(飛鳥井)－(1)善光寺蔵大手鑑118(『善光寺本坊 大勸進寶物集』郷土出版社・90段・伝義尚筆)・水荃104(95段)
 - ・ 柳江(溝杵)－(1)高城弘一氏蔵無銘手鑑G(19～20段)
(2)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－58図(定家奥書部)
 - ・ 隆継(油小路)－(1)東京国立博物館資料館蔵諫早家崇氏蔵手鑑写真(23段)・高城弘一氏蔵(23段)・あけぼの(下)32(25～26段・伝隆貞筆)・宮内庁書陵部蔵元御物手鑑60(40段)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(49～50段)・古筆手鑑4－37(63段)・高城弘一氏蔵(87段)・水荃91(95～96段)・京都古書籍・古書画資料目録7号－3426(107段)
 - ・ 隆国(二宮大宮司)－《歌集》『江州浅見家所蔵品入札目録』(京美・昭和3年9月24日)－87古筆手鑑花月(163下句～164)
 - ・ 隆重(四条)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－31図(59～60段)
 - ・ 良恕(曼珠院)－(1)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－12図(21段)・黒田彰子氏蔵(39段)
 - ・ 靈元院－(1)思文閣古書資料目録189号－259(117～119段)

- ・不明－高城弘一氏蔵(1段・定家様)・高城弘一氏蔵手鑑筆鑑(1段)・明眼院蔵手鑑(2～3段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑E(4段)・明眼院蔵手鑑(7～8段)・架蔵(13～14段)・高城弘一氏蔵(13～14段)・京都古書組合総合目録17号－1704《表裏の表面のみ図版掲載》(14段)・某氏蔵(黒田彰子氏「某氏蔵古筆切紹介」〈『愛知文教大学比較文化研究』6)－15・15～16段)・某氏蔵(黒田彰子氏「某氏蔵古筆切紹介」〈『愛知文教大学比較文化研究』6)－16・16段)・前掲切に後接)・古書と筆蹟大即売会目録(大丸心齋橋店・平成14年8月)－809(16段)・明眼院蔵手鑑(20段)・高城弘一氏蔵手鑑筆鑑(24段)・田中重太郎氏旧蔵資料の内(24～25段)・平成9年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－64(31～32段・定家様)・架蔵(38～39段)・高城弘一氏蔵手鑑筆鑑(39段・定家様)・かうなや目録『拾遺鶏肋』号外(平成10年6月)－8(41～42段)・高城弘一氏蔵(60段)・日比野浩信氏蔵(65段)・架蔵(67～68段)・高城弘一氏蔵《表裏》(79～81段)・高城弘一氏蔵《表裏》(83～84段)・明眼院蔵手鑑(102段)・日比野浩信氏蔵(104～106段)・京都古書組合総合目録17号－2287(潮音堂書蹟典籍目録8号－108・106～107段)・高城弘一氏蔵(108～109段)・京都古書研究会特選古書在庫目録10号－1897(120～121段)

[伊勢物語注釈書関連]

[和歌知頭集(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数)]

- ・雅縁(飛鳥井)－☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－93図(2段・134頁上～下段)・藤井隆氏「物語系古筆切について(補遺篇)」〈『名古屋大学国語国文学』14)参照)
- ・兼好(吉田)－某氏蔵無銘手鑑(総論部・107頁下段～108頁上段)・異同多・高城弘一氏のご教示による)
- ・寂恵(安倍)－古筆学大成23巻－84図(個人蔵手鑑百千鳥・63段・171頁下段)
- ・頼政(源)－南園文庫(高田信敬氏)蔵(1段・127頁上段)・高城弘一氏蔵(左記高田氏蔵切の模写切・伝称筆者不明)

[冷泉流伊勢物語注(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数・『古筆切研究 第1集』－43に未登録の切には「◎」を付した)]

- ・為兼(京極)－◎大阪古典会創立百周年記念古典籍善本展観図録『難波津』－53古筆手鑑(総論部・291頁上段・左記の下見会の際の稿者のメモによる)・続々国文学古筆切入門77(2段・297頁下段～298頁上段)・高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(2～3段・298頁上～下段・前掲切に後接)・披香殿82(6段・301頁上段)・古今墨林50(6段・301頁上～下段・前掲切に後接)・古筆学大成23卷－85図(西門寺蔵古手鑑・6段・303頁上段)・◎☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－54図(6段・304頁上～下段)・◎☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－53図(6段・304頁下段・前掲切に後接)・◎『平成新修古筆資料集 第3集』－75(7段・305頁下段)・◎☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－56図(7段・306頁上段)・◎東山御文庫蔵手鑑毫海(10段・316頁下段)・佐々木孝浩氏蔵(10段・316頁下段～317頁上段)・◎個人蔵手鑑翰墨城(13段・319頁上～下段)・古筆学大成23卷－86図(個人蔵手鑑管城公24段・335頁上段)・◎★エール大学図書館蔵手鑑(24段・不明・片桐洋一氏『伊勢物語の研究』－243頁参照)・古筆学大成23卷－87図(京都国立博物館蔵翰墨場36・26～27段・337頁下段～338頁上段)・佐々木孝浩氏蔵(69段・365頁上段)
- ・尊鎮(青蓮院)《今治市河野美術館蔵本系統・佐藤裕子氏「河野美術館蔵『伊勢物語註 冷泉流』(解題・翻刻)〈片桐洋一氏編『王朝文学の本質と変容 散文編』の頁数)》－佐々木孝浩氏蔵(1段・537頁下段～538頁上段・極札欠)・新春蔵開き第2回古書市出品目録抄(京王新宿店・平成14年1月)－4(116段・587頁上段)

[伊勢物語歌之注(片桐洋一氏編『伊勢物語古注釈書コレクション 第1巻』の頁数)]

- ・不明－高橋貞一氏蔵(「伊勢物語古注断簡」〈『日本古典文学会々報』126)・18段・38頁上段・高橋氏の当該切の推定書写時期は「鎌倉末期」であり、藤川晶子氏が提示された「伊勢物語歌之注」の推定成立時期「室町中後期」を大幅に遡っており、古筆切研究の立場からは、当該注の根幹部の成立時期の推定は再考を要することとなる)

[伊勢物語聞書(拙稿「中世古筆切点描一架蔵資料の紹介(二)」〈『中古中世和

歌文学論叢』)に未登録の切には「◎」を付した)]

- ・常縁(東)－古筆学大成23巻－89図(個人蔵手鑑・20段)・◎久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－10図(20～21段・前掲切に後接)・◎高城弘一氏蔵(模写切・24段)・今治市河野美術館蔵手鑑藁叢293(25段)・架蔵(57～58段)・古筆学大成23巻－90図(根津美術館蔵三号手鑑・58段)・古筆学大成23巻－91図(個人蔵手鑑・59段)・古筆学大成23巻－92図(日本学士院蔵手鑑群鳥跡・61段)・古筆学大成23巻－93図(個人蔵手鑑碧玉・62段)・古筆学大成23巻－94図(個人蔵手鑑・67段)・古筆学大成23巻－95図(玉海・67～68段)・◎陽明文庫蔵無銘手鑑(69段)・◎久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－41図(78段)

[伊勢物語肖聞抄(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数・拙稿「中世古筆切点描－架蔵資料の紹介(二)－」〈『中古中世和歌文学論叢』)に未登録の切には「◎」を付した)]

- ・雅藤(飛鳥井)－◎M&Jバーク財団蔵手鑑藻鏡(2段・593頁下段～594頁上段)・◎☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－55図(7段・597頁上～下段)・架蔵(102段・642頁下段～643頁上段)
- ・堯恵(堯孝門弟)－◎架蔵(39段・614頁上段)・京古本や往来50号文藻堂欄－6(82段・633頁下段)・◎金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(87～88段・637頁下段～638頁上段)
- ・宗祇(種玉庵)－◎個人蔵手鑑翰墨城(45～46段・617頁下段～618頁上段)
- ・和長(東坊城)－玉海191(50～51段・619頁下段)

[伊勢物語宗長聞書(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数)]

- ・宗椿－☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－59図(巻首総論部・653頁上段)

[伊勢物語愚見抄(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数)]

- ・季春(四辻)－小津家古筆切聚影8(97～98段・572頁上段)
- ・兼良(一条)－個人蔵手鑑翰墨城(100段・573頁上～下段)
- ・正広(日比)－★山内神社宝物資料館蔵古筆手鑑70(徳満澄雄氏「山内神社宝物資料館蔵『古筆手鑑』(甲)について〈前承〉」〈『高知女子大学紀要 人文・社

会科学編』34)・78～79段・560頁上～下段)

- ・政家(近衛)《自筆》—古筆学大成23巻—88図(あけぼの〈下〉14・55～58段・544頁下段～545頁上段)・高城弘一氏蔵(63～65段・549頁下段～550頁上段)・極札欠)・国文学古筆切入門81(春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉—21・83段・563頁上～下段)・雁叢24(95段・569頁下段)・★エール大学図書館蔵手鑑(101段)・片桐洋一氏『伊勢物語の研究』—243頁参照)・島根美保神社蔵手鑑28(106～107段・576頁上～下段)・出光美術館蔵品図録『書』4—12(114段・580頁下段～581頁上段)・桃江36(125段・585頁下段～586頁上段)・極札欠)
- ・宗長(柴屋軒)《抄出本》—思文閣古書資料目録176号—373(87段〈たかつきにもりて?・567頁上段)・90段〈桜花けふこそ・568頁上段)・93段〈あふな>>>・568頁下段)・96段〈あまのさかてをうちて・570頁下段～571頁上段)〕

[伊勢物語山口抄(『続群書類従18下』の頁数)]

- ・義尚(常德院)—『29周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成16年11月)—146(国文学研究資料館現蔵)・23段・642頁上～下段)・当該切の出典の解明は大内英範氏のご教示による)
- ・道興(聖護院)《自筆》—(1)続々国文学古筆切入門78(58～59段・653頁下段～654頁上段)・架蔵(92～94段・667頁上～下段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑D(95～96段・668頁上段)・新春蔵開き第6回古書市出品目録抄(京王新宿店・平成18年1月)—A372(京都古書籍)・古書画資料目録7号—3427・121～122段・673頁下段～674頁上段)
- (2)★井上宗雄氏蔵手鑑2(小島孝之氏「井上宗雄氏所蔵古筆手鑑について」〈『立教大学日本文学』68)・21段・639頁上～下段)

[伊勢物語闕疑抄(『伊勢物語の研究〔資料篇〕』の頁数)]

- ・実有(正親町三条)—★井上宗雄氏蔵手鑑24(小島孝之氏「井上宗雄氏所蔵古筆手鑑について」〈『立教大学日本文学』68)・71段・810頁上～下段)・黒田彰子

氏蔵(81～82段・820頁下段～821頁上段)・古筆手鑑4-36(102段・843頁下段)・後藤重郎氏蔵(117段・855頁上～下段・日比野浩信氏のご教示による)

- ・貞徳(松永)－高城弘一氏蔵(65段・803頁下段)・平成7年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－65古筆及短冊帖(75段・812頁下段・極札に「誹諧師 ■■(不読)」とあり)・本願寺蔵手鑑鳥跡鑑(105～106段・845頁下段)

[伊勢物語私抄(吉永登氏「伊勢物語私抄(翻刻と解説)」〈『関西大学文学論集』16-1)の頁数]

- ・不明－高城弘一氏蔵(2面続き・122～124段・65～66頁)

[未詳注釈書]

- ・為学(五条)－★横山家蔵古筆手鑑135(久保木哲夫氏「未刊手鑑『古筆切一覽』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98)・不明)
- ・為氏(藤原)－★石川透氏「『伊勢物語』古注の一端」(『日本古典文学会々報』125・平成5年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－38古筆手鑑五月雨帖に収載の由・序段)
- ・尊応(青蓮院)－金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑64(4～5段)・陽明文庫蔵大手鑑(上)92(9段)・第9回西武大古本市目録－18(2面続き左面・58段)・★実践女子大学文芸資料研究所蔵(『創立二十周年記念誌』〈別冊年報IV)142頁参照・2面続き右面・63段)・思文閣古書資料目録135号－118(67～69段)・★岡田家蔵古筆手鑑(85～86段・金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑64の解説による)・第9回西武大古本市目録－18(2面続き右面・114段)・★実践女子大学文芸資料研究所蔵(『創立二十周年記念誌』〈別冊年報IV)142頁参照・2面続き左面・105～106段)・架蔵(116～117段)・思文閣墨蹟資料目録別冊21号－176(121～123段)
- ・不明－(1)21th丸善特選古書目録－45(111段・片仮名朱注本)

[伊勢物語絵巻詞書(梵字経刷白描伊勢物語絵巻判簡については省略した)]

- ・伏見院《和泉市久保惣家蔵本(原家旧蔵)のツレ・田村悦子氏「御物 伏見天皇宸翰伊勢物語について」〈『美術研究』288)参照》－宮内庁書陵部蔵(5段)
- ・不明－『展観入札』(東美・昭和16年4月17日)－13(古土佐絵巻・5～7段)

[一枚起請文(部分的な断簡のみ掲出)]

- ・明融(高雲軒)－高城弘一氏蔵手鑑垂露懸針

[一遍上人絵詞伝詞書(宗俊作10巻本・日本絵巻物全集23巻『遊行上人縁起絵』の积文の頁数)]

- ・一遍上人－(1)《藤沢切》続国文学古筆切入門100(巻4・66頁上段)・島根美保神社蔵手鑑209(巻4・66頁上段・伝真教上人筆)・見ぬ世の友220(巻4・66頁下段)・第56回東西老舗大古書市出品目録抄(京王新宿店・平成18年7月)－A911(巻4・66頁上段・伝真教上人筆)・本願寺蔵手鑑鳥跡鑑(巻4・67頁下段・伝真教上人筆)

(2)☆金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑185(巻6・71頁上段)・☆永青文庫蔵手鑑墨叢192(巻6・71頁上段)

- ・真教(遊行二代)－石川県美術館蔵手鑑149(巻1・57頁中段)・続々国文学古筆切入門98(巻6・72頁上段)・中村健太郎氏蔵(巻7・74頁上段・伝慶運筆)・思文閣古書資料目録176号－12古筆手鑑(巻7・75頁中段・伝世尊寺行房筆)・『宮内庁協力皇室の至宝 東山御文庫御物2』(毎日新聞社・平成11年8月)－68古筆張交六曲小屏風(巻7・75頁下段・伝世尊寺行俊筆)・古筆学大成24巻－161図(伝世尊寺行俊筆・個人蔵手鑑毫戦・巻9・80頁下段)・★竹本氏蔵手鑑(巻6・続々国文学古筆切入門98の解説による)

[一遍上人語録(岩波文庫『一遍上人語録』の頁数)]

- ・為相(冷泉)－古筆学大成25巻－273図(個人蔵・52頁)

[今鏡(日本古典全書『今鏡』の頁数、なお、金沢文庫蔵の一連の断簡については省略した)]

- ・教家(九条)－古筆学大成24巻－121図(個人蔵手鑑／林原美術館蔵古筆手鑑
→小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀観の古筆切)について－古筆切拾塵抄(5)－」〈『立教大学日本文学』78〉参照・巻9・364頁15行～365頁3行)
- ・行忠(世尊寺)－架蔵(巻4・158頁9行～10行)

[今川状(小澤富夫氏『家訓』〈講談社学術文庫683〉収載本の頁数)]

- ・親忠(蜷川)－☆披香殿305(241頁)・古今墨林169(241頁)
- ・道除(八十嶋)－高城弘一氏蔵無銘手鑑K(241頁)

[岩屋の草子]

- ・不明－(1)《奈良絵本切》京都古書組合総合目録12号－253(異本か)
 (2)《奈良絵巻切》思文閣古書資料目録156号－74(思文閣古書資料目録
 174号－62・本文不鮮明)

[尹大納言絵巻]

- ・師賢(花山院)《福岡市美術館蔵本のツレ》－藤田美術館蔵手鑑玉潤倚畳(田村悦子氏「尹大納言絵巻に関する若干の考察」〈『美術研究』326)図版a・『書を楽しみましょう(平成17年9月藤田美術館第116回秋季展図録)』－31)

[栄花物語(岩波古典文学大系『栄花物語上下』の頁数)・なお、松村博司氏の一連の栄花物語の古筆切を扱った最終稿〈『栄花物語の研究 補説篇続』〉までに未登録のものには「◎」を付した]

- ・為家(藤原)－金沢文庫蔵(2面継ぎ〈内容は連続〉)・巻28・下290～291頁・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」－13〈『栄花物語の研究 補説篇』参照)・金沢文庫蔵(池田和臣氏旧蔵)・巻28・下282頁・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切・追補」〈『栄花物語の研究 補説篇続』参照)
- ・為相(冷泉)－(1)『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』－102イ(巻12・上371～372頁)
 (2)『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』－102ロ(巻27巻首・下239頁)
 (3)久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－67図(巻25・下194頁・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」－5〈『栄花物語の研究 補説篇』参照)
- ・為明(二条)－(1)◎久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－66図(巻25・下189頁・後掲の巻27とは類筆であり、一面の行数が一致、法量がほぼ一致、更に料紙も「雲母引き」で一致しており、寄合書の僚巻と思われる)・◎相愛大学図書館春曙文庫蔵(平成12年

12月和歌文学会74回関西例会展示目録－49・巻27・下247～248頁)・続国文学古筆切入門補遺4(巻27・下248～249頁)・◎高城弘一氏蔵無銘手鑑H(巻27・下269頁・伝忠度筆)・国文学古筆切入門93(巻27・下270～271頁)

(2)思文閣古書資料目録151号－57(橘樹文庫現蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録－49・『古筆への誘い』－49)・巻25・下193頁・北野克氏旧蔵・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」－4(『栄花物語の研究 補説篇』)参照)

(3)◎古筆学大成30巻図版補遺－143(八木書店古書目録51号〈平成10年12月〉－284・巻11・上354頁)

- ・家隆(藤原)－『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』－101(『鶴見大学図書館蔵貴重書80選 和歌と物語』－11・巻24・下173頁)
- ・基綱(姉小路)－★松村博司氏蔵(巻25・下188頁・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」－3(『栄花物語の研究 補説篇』)参照・西本願寺本栄花物語(伝姉小路基綱筆・巻18～20)と同筆)
- ・義政(足利)－◎福地書店和本目録昭和60年7月号－写15古筆手鑑鳥之跡(巻39・下524頁)
- ・興意(照高院)－◎高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(巻19・下111～112頁)
- ・後伏見院－古筆学大成24巻－114図(個人蔵手鑑・巻25・下197～198頁)・古筆学大成24巻－115図(東京国立博物館蔵十二号手鑑・巻25・下198頁・伝洞院実熙筆・前掲切に後接)・◎京都古書組合総合目録13号－965(巻25・下204頁・伝洞院定熙筆)
- ・慈円－霜のふり葉109(巻19・下113頁)
- ・寂蓮－続々国文学古筆切入門92(『平安の仮名 鎌倉の仮名(出光美術館・平成17年11月)』－60・巻12・上379頁)・◎『井上書店特別目録』平成8年5月号－10(大阪古典会創立百周年記念古典籍善本展観図録『難波津』－11・巻12・上384頁・伝為相筆)

- ・ 有家(藤原)一続々国文学古筆切入門93(巻26・下213頁)
- ・ 不明一(1)個人蔵(『国宝紫式部日記絵巻と雅びの世界』〈徳川美術館・平成12年11月〉)－12・巻12・上383頁・松村博司氏旧蔵・山田昭全氏「栄花物語の古断簡について」〈『平安文学研究』36〉で紹介されている「東寺宝菩提院三密蔵」所蔵の一連の断簡のツレ)
 - (2)松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」(『栄花物語の研究 補説篇』)－8(巻27巻首・下239頁・小林本初丁〈小林正直氏旧蔵〉・『鸞鳳帖』及び『新訂増補 国史大系栄花物語』に図版掲載)・松村博司氏「『栄花物語』の古筆切」(『栄花物語の研究 補説篇』)－12(巻28巻首・下277頁・小林本初丁〈小林正直氏旧蔵〉・『鸞鳳帖』及び『新訂増補 国史大系栄花物語』に図版掲載)

[艶書絵巻詞書(佚書か)]

- ・ 兼好(吉田)《タハゴト切》－(1)翰墨城290・石川県美術館蔵手鑑126・『平成新修古筆資料集 第1集』－74
 - (2)古筆学大成23巻－362図(『大東急記念文庫善本叢刊中古中世篇別巻三 手鑑鴻池旧蔵手鑑』－123〈なお、拙稿「源氏物語関係古筆切資料集成稿」では、当該切を「古筆学大成」における「源氏物語梗概本」との分類に従って立項しておいたが、その後公刊された「鴻池旧蔵手鑑」の解説担当の田中登氏は、当該切を「源氏物語梗概本」ではなく「未詳絵詞」とすべき旨指摘されている)・『翠樹園山田家所蔵品入札目録』(東美・昭和9年12月10日)－110(キャプションに「タハゴト切」と記載、古筆学大成23巻－362図のツレであり、その内容は源氏物語とは別の「未詳艶書絵詞」であることが確認され、前掲の田中氏の指摘の正当性が担保され

たこととなる)

[扇の草子(安原眞琴氏「『扇の草子』諸本と書誌」〈『立教大学日本文学』76)及び『「扇の草子」の研究』〈ぺりかん社〉参照、なお、安原氏の著書に未登録のものには「◎」を付した)]

- ・ 覚道(仁和寺)－(1)◎東山御文庫蔵手鑑毫海(古今集406)
 - (2)思文閣古書資料目録136号－289(石川透氏現蔵・弘長百首634〈三十六人大歌合12・夫木抄12637〉～古今集221・安原氏論文－15・著書－T)
- ・ 後土御門院－茶道資料館昭和58年秋季特別展『茶の湯と掛物Ⅲ－宸翰－』－29(出典不明・安原氏論文－13及び著書－Pによれば、王舎城美術館蔵、同館『特別展 宸翰－天皇とその周辺の手書』〈平成2年10月〉にも図版収載)
- ・ 勾当内侍(後花園院)－『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』－110(高田信敬氏蔵・新古今集191～新古今集182～新古今集251・安原氏論文－11・著書－R & 口絵3)・◎『29周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成16年11月)－106(新古今集1093～新古今集1099～新古今集1109)
- ・ 勾当内侍(後土御門院)－(1)霜のふり葉(出典不明～古今集139・安原氏論文－12・著書－O)
- ・ 心前－筆陣毫戦226(万代集452〈雲葉集252・夫木抄2147〉)の道真歌の類歌・安原氏著書－補)
- ・ 内侍(後土御門院)－(1)都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖(拾遺集451～古今集921の類歌～出典不明・安原氏論文－10・著書－N)
 - (2)◎高城弘一氏蔵手鑑翰園百華(拾遺集171)
- ・ 内侍(後柏原院)－思文閣古書資料目録149号－14古筆手鑑残花帖(徳田和夫氏現蔵・古今集577～新古今集805・安原氏論文－14・著書－U & 口絵5)
- ・ 不明－(1)『浄照坊蔵古筆切集』－108(古今集1016～出典不明～古今集409～蔵玉集187～新古今集448～源氏物語354・安原氏論文－9・著書－M)

- (2)★思文閣墨蹟資料目録203号(出典不明～新千載集416・安原氏論文
-16・著書-Y)
- (3)★56回阪急古書大会目録(白河殿七百首68～後拾遺集71～白河殿
七百首33・安原氏論文-17・著書-X)
- (4)石川透氏蔵(徳田和夫氏編『お伽草子事典』口絵に図版掲載・拾遺集
10～出典不明～四十二の物あらそひ・安原氏著書-S)
- (5)★某氏蔵(新古今集437～新古今集440～新古今集448の類歌・安原
氏著書-Q)
- (6)◎『美術を主とした阪急古書ほり出し市目録』(阪急百貨店・昭和49
年6月)-3頁(拾遺集288～沙石集71～出典不明)・◎『古書史料展観
即売会目録』(心齋橋大丸・昭和49年6月)-15(金葉集二度本22～白
河殿七百首77～新古今集82)

[(仮名本)往生講式(大正蔵の頁数)]

- ・寂蓮-(1)☆白鶴美術館蔵手鑑211(大正蔵84巻881頁上段)・☆古筆学大成25
巻-393図(あけぼの<下>77・大正蔵84巻882頁中段)
- (2)南園文庫(高田信敬氏)蔵(大正蔵84巻882頁上段)・国文学研究資料
館蔵「山本家旧蔵古筆・古版資料」の内(『国文学研究資料館 創立
30周年記念 特別展示図録』-11・大正蔵84巻882頁下段)
- ・聖光上人-思文閣墨蹟資料目録315号-52(大正蔵84巻881頁中段)
- ・不明-(1)陽明文庫蔵マクリ(大正蔵84巻882頁中段)

[(仮名本)往生要集(岩波文庫『往生要集 上下』の頁数)]

- ・良経(後京極)《浄福寺蔵本のツレ(西田直樹氏・西田直敏氏『浄福寺本仮名書
き「往生要集」影印・翻刻・解説』参照)》-(1)古筆学大成25巻-256図(個人蔵・
大門第1・上50頁)・高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(大門第1・上51頁・浄福寺蔵本
50才に前接)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(大門第7・下71頁)・高城弘一氏蔵
無銘手鑑G(大門第7・下82頁)・某氏蔵(大門第7・下95頁・現蔵者不明、某古書
肆における稿者のメモによる)・古筆学大成25巻-257図(個人蔵手鑑[重
文]・大門第7・下95～96頁・前掲切に後接)・古筆学大成25巻-258図(藁叢

〈人〉30・大門第9・下124頁)

(2)古筆学大成25巻－259図(京都龍興寺蔵手鑑8・大門第2・上
125頁)

[大鏡(岩波古典文学大系『大鏡』の頁数)]

- ・ 為相(冷泉)－高城弘一氏蔵(巻4・195頁)・★不明(伊井春樹氏「古筆と作品流
布 散文篇」〈『リポート笠間』26)参照)
- ・ 寂蓮《建久本》－古筆学大成24巻－117図(模写・個人蔵手鑑・続々国文学古筆
切入門94・巻3・115頁)・古筆学大成24巻－116図(不二文庫蔵・巻3・132頁)・古
筆学大成24巻－118図(椿山荘美術館蔵〈『前田侯爵家御蔵器入札目録』(東
美・大正14年5月25日)－40古筆手鑑浜千鳥・鏡草17)・巻3・139頁)・京都古書
籍・古書画資料目録1号－162(田中登氏現蔵、同氏「物語系古筆切三種」〈『国
文学(関大)』83～84)参照・『平成新修古筆資料集 第3集』－51・巻3・143頁)・
高城弘一氏蔵無銘手鑑H(巻3・144頁)・古筆学大成24巻－119図(個人蔵手
鑑・巻3・144頁)・古筆学大成24巻－120図(個人蔵・巻3・151頁)
- ・ 信尹(近衛)－筆陣毫戦181(巻3・133頁)
- ・ 尊円(青蓮院)－(1)《散書》陽明文庫蔵大手鑑(上)87(巻6・260頁)・陽明文庫蔵
大手鑑(上)88(巻6・260頁・前掲切に後接)・★『鶴見大学図
書館蔵貴重書80選 和歌と物語』－64【参考】解説(巻6・
260頁・前掲切に後接)
- (2)《散書・雲紙》披香殿217(巻6・281頁)
- ・ 尊道(青蓮院)－《散書・雲紙》大阪古典会創立九十周年記念古典籍善本展観
図録『濔標』－25(平成3年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－7・巻
3・124頁9～10行／巻6・281頁10～14行＋尊道の真翰である旨の加証奥書〈尊
朝か〉)
- ・ 不明－(1)茶道資料館平成9年新春展『倭文亭文庫コレクション』－18(巻5・
211頁)
- (2)《片仮名本・9紙》三条公輝氏蔵(乙部讓爾氏「大鏡の古写本の断簡」
〈『解釈と鑑賞』1－6)に第1紙及び第8紙の図版掲載あり)

[御文(大正蔵の頁数)]

- ・実如(本願寺)－思文閣古書資料目録183号〈善本特集15輯〉－37(平成16年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－148・大正蔵83巻803頁上段)・芸林荘特選書画目録(平成10年7月)－56(大正蔵83巻803頁上～中段・前掲切に後接)・思文閣墨蹟資料目録312号－4(大正蔵83巻803頁中段・前掲切に後接)
- ・蓮如(本願寺)－京都古書籍・古書画資料目録6号－1130(大正蔵83巻782頁中段)

[神楽歌(岩波古典文学大系『古代歌謡集』所収本の一連番号)]

- ・宗尊親王－古筆学大成24巻－244図(翰墨城36・49～50)・古筆学大成24巻－245図(七条書房刊『古筆名葉集』115・52 a 途中～53)

[蜻蛉日記絵巻詞書](岩波新古典文学大系『土佐日記／蜻蛉日記／紫式部日記／更級日記』の頁数・田村悦子氏「蜻蛉日記絵の詞書断簡について」〈『美術研究』241〉参照)

- ・経朝(世尊寺)《玉津切》－古筆学大成24巻－137図(見ぬ世の友156・上巻・78～79頁)・古筆学大成24巻－138図(藻塩草153・上巻・79頁・前掲切に後接)

[かざしの姫(『室町時代物語大成』補遺1巻所収本の頁数)]

- ・不明《奈良絵本切》－『古裂会オークションカタログ(平成17年10月)』27号－01－01(430頁上段)

[花鳥風月(『室町時代物語大成』3巻所収本の頁数)]

- ・不明－(1)架蔵(文禄奈良絵本426頁上～下段・慶長元和頃古活字本440頁上～下段・但し左記両本との間に細かい異同が多い)

[仮名文字遣(『国語学大系』6巻所収本の頁数)]

- ・言継(山科)－国文学研究資料館蔵「山本家旧蔵古筆・古版資料」の内(40頁・「なましる・あきしる・うるゝゝし・ゐところ・てゐさふらひ・まとゐ・いもゐ・ゐさる・ゐ■」〈上段〉・「めしる・わらひそほれゐ・ゐる・いへゐ・しなかとりゐ・ゐてたてまつる・ゐたけ・はゐる・ゐの」〈下段・切下部破損により一部判読不能〉)・田中登氏蔵(40～41頁・「しゐね・よゐ・ゐかひ・ゐんし・によゐん」〈上段〉・「ゐようさう・よゐのそう・ゐんし・うなゐこ・一ゐより八ゐにい

たる」〈下段〉+「正従一位 正従二位～従六位下 正七位上」〈この部分は『国語学大系』6巻所収本にはナシ〉・前掲切に後接)

- ・政為(下冷泉)－古今墨林58(42頁・「とほる・にほふ・いきほひ・うるほひ」〈上段〉・「かほる・ころほひ・よそほひ・かほ」〈下段〉)

[(仮名本)観普賢経(大正蔵の頁数)]

- ・公任(藤原)－古筆学大成25巻－152図(月台27・大正蔵9巻389頁下段・伝西行筆)・古筆学大成25巻－153図右2行(個人蔵・大正蔵9巻390頁上段)・春日井市道風記念館『古筆の美』(平成15年9月)－31古筆手鑑(個人蔵・大正蔵9巻390頁中段)・古筆学大成25巻－154図(個人蔵手鑑千歳のもと・大正蔵9巻390頁下段)・古筆学大成25巻－156図(『小鑑』－34・大正蔵9巻391頁上段・伝西行筆)

[(仮名本)観無量寿経(岩波文庫『浄土三部経(下)』所収の「観無量寿経」の頁数)]

- ・源信(恵心院)－古筆学大成25巻－157図(個人蔵手鑑管城公・73頁)
- ・寂蓮－古筆手鑑4－65(61頁)・都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖(64頁・極札欠)
- ・良経(後京極)－(1)《押界本》古筆学大成25巻－158図(茂山文庫蔵手鑑翰墨城・39頁)・古筆学大成25巻－159図(個人蔵・41～42頁)・古筆学大成25巻－169図(個人蔵手鑑・42頁)・平成2年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－55(42頁)・古筆学大成25巻－160図(玉海49・42頁・前掲切に後接)・平成5年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－48(48頁)・古筆学大成25巻－170図(根津美術館蔵一号手鑑・48～49頁)・村上列氏蔵手鑑まさごの鶴14(49頁・前掲切に後接)・エール大学図書館蔵手鑑(50頁)・潮音堂書蹟典籍目録2号－11(51頁)・古筆学大成25巻－163図(個人蔵・59頁)・古筆学大成25巻－164図(個人蔵手鑑[重美]・60頁)・古筆学大成25巻－172図(個人蔵『木版本古筆手鑑』所載・梅園奇賞

28〈伊井春樹氏・新藤協三氏「『梅園奇賞』所収古筆資料の影印・翻刻と解題」『調査研究報告』5〉・60頁・(1)と(2)との帰属弁別困難)・16th 丸善特選古書目録－123(61頁)・古筆学大成25巻－165図(岩国吉川家蔵手鑑翰墨帖27・63頁)・大垣博氏蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録－59・『古筆への誘い』－60・65頁)・古筆学大成25巻－173図(『涛声館蔵品入札図録』〈大美・昭和16年6月5日〉－154古筆手鑑筆陳・66頁)・古筆学大成25巻－166図(藁叢〈天〉27・72頁)・『阪急古書のまち古書目録』〈平成17年6月〉中尾松泉堂書店カラー版－16(72頁・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－167図(世々の友42・73頁・解説に拠れば「墨界」)・古筆学大成25巻－168図(宮内庁保管手鑑・73頁)

(2)《金界本》古筆学大成25巻－161図(長谷寺豊山文庫蔵手鑑・43頁)・古筆学大成25巻－162図右4行(個人蔵手鑑・56頁)・古筆学大成25巻－171図(『古筆と楽代々展目録』〈東美・昭和45年1月〉・56頁・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－162図左4行(個人蔵手鑑・56～57頁)

[北野天神縁起絵巻詞書(日本思想大系『寺社縁起』所収本の頁数)]

- ・為氏(藤原)《建久本系統・甲類》一字和島伊達文化保存会蔵手鑑筆の海(153頁)・小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀観の古筆切)について－古筆切拾塵抄(5)－」〈『立教大学日本文学』78〉参照)
- ・定実(世尊寺)《平群神社本の本文に近い・甲類》－永青文庫蔵手鑑墨叢114(145頁)・『大東急記念文庫善本叢刊中古中世篇別巻三 手鑑鴻池旧蔵手鑑』－54(148頁)・陽明文庫蔵大手鑑(下)28(153頁)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－81図乙(155頁)・中村健太郎氏蔵(158頁)・金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑107(158頁)・古筆学大成24巻－140図(個人蔵手鑑・160頁)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－81図甲(160頁)・あけぼの(上)98

(160頁・前掲切に後接)

- ・良基(二条)《中野本〈村瀬實恵子氏「新出の中野本天神縁起繪卷」『国華』1020参照)及び杉谷本の本文にほぼ一致・建保本系統の後出本・甲類・便宜的に『北野誌』収載の「北野文叢十五」の頁数により示す》—鳳凰台36(289頁下段)・鳳凰台37(289頁下段・前掲切に後接)
- ・良経(後京極)《甲類の異本》—宮内庁書陵部蔵宸翰手鑑(『皇室の至宝11 御物書跡II』〈毎日新聞社・平成4年11月〉—27・148頁)
- ・不明—(1)《繪付属切・津田本の本文に近い・丙類》『東京国立博物館図版目録やまと絵篇』—25(155頁)
 - (2)《繪付属切・甲類》思文閣古書資料目録179号—80(145~146頁)
 - (3)《片仮名本・甲類・梅津次郎氏「北野本地繪卷」〈『繪卷物残欠の譜』〉の頁数・下巻のみの零巻で、その段階での伝称筆者は「為家」、詞書を伴わない断簡については省略した、なお、真保亨氏『北野聖廟繪の研究』の第三章第一節註2〈同書64~65頁〉には、昭和32年10月14日に東京国立文化財研究所の開所記念行事として行なわれた「白描やまと絵」の展観に断簡の状態で出品された八点の所蔵者及び章段が一覧されており、且つ海外への流出分についても言及されている》思文閣古書資料目録135号—108(155頁15行~18行)・個人蔵(『社寺縁起繪』—グラビア11・155頁25行~156頁3行)・思文閣古書資料目録135号—107(156頁20行~25行・古筆学研究所現蔵→伝為家筆とする)・思文閣古書資料目録135号—109(158頁18行~19行)・松永記念館蔵(『社寺縁起繪』—グラビア7・159頁8行~11行)・ホノルル・アカデミー美術館蔵(『在外日本の至宝 2繪卷物』—69・159頁12行~14行・前掲切に後接)・M&Jバーク財団蔵(『在外日本の至宝 2繪卷物』—68〈詞書の部分は151頁にモノクロ図版掲載〉・159頁19行~160頁13行)

[北山殿行幸記『群書類従3』の頁数]

- ・俊通(富小路)—☆島根美保神社蔵手鑑225(535頁下段)

[九州道の記(細川幽齋・新編日本古典文学全集『中世日記紀行集』所収本の頁数)]

- ・宗伊(杉原)－架蔵(555頁)
- ・忠興(細川)－第3回たかしまや古書の街総合目録－93(547頁)

[堯孝法印日記] (『群書類従18』の頁数・小池一行氏「伝堯孝筆『歌書切』について」〈『書陵部紀要』42)参照)

- ・堯孝(和歌所法印)－宮内庁書陵部蔵古筆集(文安3年1月13日条・234頁下段～235頁上段)・石川県美術館蔵手鑑127(文安3年2月17日条・238頁下段)・思文閣墨蹟資料目録別冊22号－143(文安3年3月13日～14日条・240頁上～下段)・長谷寺豊山文庫蔵手鑑(文安3年3月29日～4月1日条・241頁下段～242頁上段)・白鶴美術館蔵手鑑163(某年2月11日)・本願寺蔵手鑑鳥跡鑑(某年2月25日)・★醍醐寺蔵手鑑(某年7月11日)・石川県美術館蔵手鑑127の解説による)・高まつ帖152(某年10月29日)・足利義教詠)

[愚管抄(岩波古典文学大系『愚管抄』の頁数)]

- ・慶運(和歌四天王)－『宮内庁協力皇室の至宝 東山御文庫御物2』(毎日新聞社・平成11年8月)－57八曲小屏風(巻3・146頁)・『宮内庁協力皇室の至宝 東山御文庫御物2』(毎日新聞社・平成11年8月)－58八曲小屏風(巻3・148頁)
- ・道家(九条)－島根美保神社蔵手鑑35(巻3・146頁)・古筆学大成24巻－123図(玉海50・巻3・146頁・前掲切に後接)・『春季特別展 佐々木勇蔵コレクション 短冊優品展 I－中世から江戸初期－』(岸和田市立郷土資料館・平成13年3月)－H2(巻3・149頁)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－68図(巻3・169頁)・伝教家筆・藤井隆氏「物語系古筆切について(2)」〈『名古屋大学国語国文学』8)参照)・『浄照坊蔵古筆切集』－25(巻7・327～328頁)

[熊野の本地(『室町時代物語大成』4巻所収本の頁数)]

- ・不明－(1)《絵付属切・天理図書館蔵元和八年書写絵巻系統》平成3年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－132(206頁下段～207頁上段)
- (2)《絵付属切・系統不明》『栗山家愛蔵品入札目録』(東美・昭和10年2月27日)－42

(3)《繪付属切・系統不明》思文閣古書資料目録179号－82(2面分図版掲載)

[黒谷上人語燈録(大正蔵の頁数)]

- ・安楽(法然門弟)－(1)《六半切》☆宮内庁書陵部蔵元御物手鑑125(巻11・往生大要抄・大正蔵83巻179頁上～中段)・架蔵(巻11・往生大要抄・大正蔵83巻181頁下段)
(2)《四半切》架蔵(巻12・浄土宗略抄・大正蔵83巻195頁中段)
- ・行能(世尊寺)－思文閣墨蹟資料目録315号－54(巻12・浄土宗略抄・大正蔵83巻195頁中段)・国立国会図書館蔵無銘手鑑(巻12・浄土宗略抄・大正蔵83巻197頁下段)
- ・證空(西山)－(1)高城弘一氏蔵無銘手鑑C(巻14・津戸三郎へツカハス御返事・大正蔵83巻218頁上段)
(2)思文閣古書資料目録181号－33(巻14・津戸三郎へツカハス御返事・大正蔵83巻218頁上段2～3行＋「同人御返事」＋大正蔵83巻217頁下段8～10行)
- ・不明－(1)架蔵(巻14・十二箇條問答・大正蔵83巻226頁中段)

[華嚴縁起(日本絵巻大成17巻『華嚴宗祖師絵伝(華嚴縁起)』の积文の頁数)]

- ・為相(冷泉)－高城弘一氏蔵無銘手鑑A(112頁上段・『古筆切研究 第1集』－44参照)

[源氏物語絵詞(片桐洋一氏他編著『源氏物語絵詞－翻刻と解説－』の頁数)]

- ・竹屋三位－《色紙型切》京都古書籍・古書画資料目録4号－1479(野分・54頁下段)
- ・不明－(1)《繪付属色紙型切》思文閣墨蹟資料目録312号－7(真木柱・58頁上～下段・大阪女子大学附属図書館蔵本より若干抄出部分が少ない・絵は土佐光吉画)

[源氏物語絵巻詞書]

- ・雅経(飛鳥井)《徳川美術館及び五島美術館蔵本のツレ》－個人蔵(コンパクト)

- ト版日本の絵巻1『源氏物語絵巻 寢覚物語絵巻』-40頁・若紫・伝寂蓮筆)・古筆学大成24巻-125図(春敬記念書道文庫蔵・末摘花)・古筆学大成24巻-126図(春敬記念書道文庫蔵・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』-10・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉-1・松風・伝寂蓮筆)・個人蔵(コンパクト版日本の絵巻1『源氏物語絵巻 寢覚物語絵巻』-47頁・少女)・古筆学大成24巻-127図(個人蔵・蛍・伝紫式部筆)・古筆学大成24巻-128図(春敬記念書道文庫蔵・常夏)・古筆学大成24巻-129図(春敬記念書道文庫蔵・柏木・伝行成筆)
- ・基忠(鷹司)《天理大学附属図書館蔵及び松永鵬氏旧蔵本のツレ》-古筆学大成24巻-130図(翰墨城278・桐壺・伝一遍筆)・古筆学大成24巻-131図(個人蔵・夕顔・伝国夏筆)・『関戸松下軒愛蔵品入札並売立目録』(名美・昭和8年2月8日)-46(絵付属巻・若紫・天理大学附属図書館現蔵)・古筆学大成24巻-132図(世々の友133・伊井春樹氏「源氏物語絵画資料二種」〈『和歌物語古註續集(天理図書館善本叢書和書之部第58巻・八木書店・昭和57年11月)』-月報52)・若紫・伝一遍筆)・続国文学古筆入門87(春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉-25・賢木・伝国冬筆)・『平成新修古筆資料集 第2集』-107(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』-17・初音・伝国冬筆)・古筆学大成24巻-133図(宮内庁保管手鑑・若菜下・伝国冬筆)・古筆学大成24巻-134図(個人蔵手鑑・若菜下・伝国冬筆)・古筆学大成24巻-135図(都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖・若菜下・伝国冬筆)
 - ・亀山院-思文閣古書資料目録184号-2古筆手鑑(田中登氏「源氏物語絵詞二題」〈『汲古』46)・『平成新修古筆資料集 第3集』-2・「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月) - 図版6・同書口絵にカラー図版掲載・若菜下)
 - ・後伏見院-思文閣古書資料目録137号-76(末摘花)
 - ・長闇(楠)《絵付属切》-古今墨林172(藤裏葉)
 - ・墨梅(平田)-田中登氏「源氏物語絵詞二題」(『汲古』46・若菜下)
 - ・満意(聖護院)《雲紙》-かうな屋目録『拾遺鶏肋』7号(平成12年1月)-010(鶴

見大学図書館現蔵・賢木・河内本・当該切の出典の解明は大内英範氏のご教示による)

- ・不明－(1)《白描絵巻》思文閣墨蹟資料目録347号－15(須磨・昭和49年11月東西展観古典籍大入札会目録－71〈図版13頁〉掲載の「白描源氏物語 須磨之巻 一卷」のツレであるが、左記絵巻がその後分割されたものか、或いはその佚脱部に相当するののかについては不明)

[高野大師行状図絵詞書(梅津次郎氏編『弘法大師伝絵巻』〈角川書店〉の積文の頁数)]

- ・一遍上人《第一系統》－☆玉海221(梅津次郎氏編『弘法大師行状絵巻』〈東京美術〉収載の安楽寿院蔵本〈高祖大師秘密縁起〉の巻7第1段の「応天門額」条)
- ・定実(世尊寺)《粉河切・第一～五系統本との間にそれぞれ異同あり、異本か》－藻塩草149(巻3・40頁上段)・文彩帖94(巻3・41頁上段)・見ぬ世の友152(巻3・41頁中段)・翰墨城212(巻3・41頁中～下段)
- ・不明－(1)《絵付属切・第三系統》潮音第蔵(『水荃』6号カラー口絵〈小松茂美氏「過眼墨宝『弘法大師行状絵詞』断簡」参照)・昭和39年5月三都古典連合会『古典籍展観大入札会目録』－29・昭和62年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－48・巻3・38頁中段)・昭和47年12月三都古典連合会創立十周年記念『古典籍下見展観大入札会目録』－185(34頁に図版掲載・巻3・41頁上段)・平成6年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－125(巻3・41頁下段)・昭和61年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－111(昭和63年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－42・巻8・53頁中～下段)
- (2)《絵付属切・第三系統》思文閣古書資料目録121号－21(巻3の詞書のみの零巻・巻首及び「恵果影現事」条及び「恵果御入滅事」条の図版掲載)・平成3年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－130(『大阪青山短期大学所蔵品図録第1輯』－155・巻3・41頁下段)・平成3年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－129(思文閣墨蹟資料目録226号－4・『大阪青山短期大学所蔵品図録第1輯』－155・巻

3・42頁上段・前掲切に後接)

(3)《絵付属切・第三系統・逸翁美術館他蔵(京都・三大寺家旧蔵)のツレ・なお、断簡となった三大寺家旧蔵本巻4及び巻5の現存状況については、鹿島繭氏「三大寺本系高野大師行状繪について」〈『仏教芸術』214〉に一覧されているが、図版若しくは詞書の釈文が確認出来ないものについては省略した》—某家蔵(佐野みどり氏「高野大師行状繪卷断簡」〈『國華』1063〉—挿圖1・巻3〈但し、三大寺家旧蔵本では巻4に配置される〉・42頁上段)・某家蔵(佐野みどり氏「高野大師行状繪卷断簡」〈『國華』1063〉—挿圖2・巻3〈但し、三大寺家旧蔵本では巻4に配置される〉・42頁上段)・思文閣古書資料目録199号—1(巻5・46頁下段・前掲の鹿島氏の一覧に未登録部)・『書画 蒐集と鑑賞』12号(特別号)—1(巻5・46頁下段・前掲切に後接・前掲の鹿島氏の一覧に未登録部)

(4)《「神於寺縁起繪卷」に呼び継ぎ・第二系統の詞書と一致する旨、後掲の秋山氏論文に指摘あり・第二系統の『地藏院蔵(重要文化財)高野大師行状圖畫』の頁数》ネルソン・ギャラリー—アトキンス美術館蔵(秋山光和氏「『神於寺縁起繪卷』の復元と考察」〈『在外日本の至宝 2繪卷物』〉—105頁挿図8・巻4・図版88頁14～16行)・フォッグ美術館寄託(秋山光和氏「『神於寺縁起繪卷』の復元と考察」〈『在外日本の至宝 2繪卷物』〉—105頁挿図9・巻4・図版89頁5～7行)

(5)《絵付属切・第一系統》思文閣古書資料目録167号—2(2幅・梅津次郎氏編『弘法大師行状繪卷』〈東京美術〉収載の安楽寿院蔵本〈高祖大師秘密縁起〉の巻8第5段の「神泉祈雨」条)

[孝養集(『浄土宗全書 續15』所収本の頁数)]

・通具(久我)—高城弘一氏蔵無銘手鑑C(巻下・68頁上段)

[幸若舞曲関係]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44)参照

[古事談]

- ・為相(冷泉)－★不明(伊井春樹氏「古筆と作品流布 散文篇」〈『リポート笠間』26)参照)
- ・貞敦親王(伏見宮)－★不明(伊井春樹氏「古筆と作品流布 散文篇」〈『リポート笠間』26)参照)

[駒競行幸絵巻詞書(岩波古典文学大系『栄花物語上下』の頁数・梅津次郎氏「高陽院駒競行幸絵巻」〈『絵巻物残欠の譜』)参照]

- ・不明－(1)《一種本》和泉市久保惣記念美術館蔵(巻23・下158頁5行～159頁5行)
(2)《二種本》梅津次郎氏蔵(同氏「高陽院駒競行幸絵巻」〈『絵巻物残欠の譜』)－7図・模写本・巻23・下159頁5行～8行+159頁16行～160頁2行・伝実秋筆→狩野養信編「補定駒競行幸絵詞」〈『絵巻物残欠の譜』91頁－詞四・狩野友川蔵・伝公藤筆)に一致)・「高陽院駒競行幸絵巻」(『絵巻物残欠の譜』)－6図(梅津氏双鉤填墨模写本・巻23・下160頁2行～4行・原本は米国個人蔵で上野憲示氏「『駒競行幸絵巻』の復元と考察」〈『日本絵巻大成』23)－114頁に図版掲載あり・前掲詞書に後接)・狩野養信編「補定駒競行幸絵詞」(『絵巻物残欠の譜』91頁－詞五・狩野養信蔵・下160頁5行～8行)

[西行物語(久保田淳氏編『西行全集』所収の「文明本」の頁数)]

- ・西行－『当市某家所蔵品入札目録』(大美・昭和3年3月15日)－104(下巻・984頁上～下段)・★『尾北某旧家三州平坂町石川聴雨堂及旧家所蔵品売立目録』(名美・昭和12年4月6日・藤井隆氏「物語系古筆切について(補遺篇)」〈『名古屋大学国語国文学』14)参照・下巻・992頁下段)
- ・道経(近衛)《高尾切》－古筆学大成24巻－108図(藻塩草39・下巻・995頁上段)・古筆学大成24巻－109図(見ぬ世の友38・下巻・995頁上段・前掲切に後接)

[西行物語絵巻詞書]

- ・一位局(飛鳥井)《津軽家本のツレ・『続群書類従32上』の頁数》－続々国文学古筆切入門91(355頁下段～356頁上段)

・不明－(1)《絵付属切・久保家本系統・久保田淳氏編『西行全集』の頁数》昭和48年2月シブヤ西武名家筆蹟展観大即売会目録－159(昭和49年11月東西展観古典籍大入札会目録－70〈図版13頁〉・中巻6段・1030頁上～下段)・昭和48年11月大丸東京店秘蔵古書書画幅大即売展目録－413(下巻16段・1041頁下段)
[催馬楽(岩波古典文学大系『古代歌謡集』所収本の一連番号)]

・寂蓮－大垣博氏蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録－55・『古筆への誘い』－56・久保木哲夫氏「新出断簡 催馬楽『なにそもそ』考」〈『都留文科大学研究紀要』58)参照・「なにそもそ」～「高沙古二帖」途中・彰考館文庫蔵平仮名本『催馬楽譜』とほぼ一致)・『古筆凌寒帖』11(31・極札欠)

・宗尊親王《四辻切・鍋島直泰氏蔵『催馬楽譜』のツレ》－『書苑』7－3(27・鍋島氏本現存部)・古筆学大成24巻－247図(春敬記念書道文庫蔵・30)・古筆学大成24巻－248図(藻塩草30・38)

・定家(藤原)－古筆学大成24巻－250図(個人蔵・9)

・不明－(1)古筆学大成24巻－246図(陽明文庫蔵・24〈「道長」との伝称あり〉)
(2)予楽院臨書手鑑48(28「梅枝」～「きみるうくひすや」)

[催馬楽注秘抄(『続群書類従19上』の頁数)]

・兼良(一条)－高城弘一氏蔵無銘手鑑E(593頁下段・伝烏丸資任筆)・第3回たかしまや古書の街総合目録－26(602頁上段～下段)

[狭衣物語(日本古典全書『狭衣物語 上下』の頁数)→拙稿「狭衣物語の古筆切点描」(久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)参照、本稿には前記拙稿に未登録のもののみを掲出

・為明(二条)－(1)久下裕利氏「『狭衣物語』の古筆切について－飛鳥井雅章筆本との関連－」(久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』〈新典社、平成18年9月)・同書口絵にカラー図版掲載・巻4・下184～185頁)

・讃岐(二条院)－田中登氏蔵(「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫

氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)
 - 図版7・巻4・下237頁2行～)

[三国伝記(三弥井書店中世の文学『三国伝記 上下』の頁数)]

- ・康頼(平) - (1)昭和38年12月白木屋『文車の会主催古書大即売フェア』出品略目』-24(吉田幸一氏「資料紹介『三国伝記』の古写断巻」(『説話文学研究』3)・巻1・第30話・母子三人賢人事・106～107頁+尾題「三国傳記一卷／嘉應 ■十月十八日 筆主入道康頼」)

[三部仮名抄(大正蔵の頁数)]《小野恭靖氏「三部仮名抄の古筆切について」(『大阪教育大学紀要第I部門人文科学』44-1→『中世歌謡の文学的研究』収載)及び「仏教関連古筆切資料考」(『学大国文』47)参照、なお、小野氏の論文に未登録のものには「◎」を付した》

- ・其阿(大智庵) - ◎高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(帰命本願抄下巻首・大正蔵83巻288頁下段)
- ・向阿(浄花院) - (1)あけぼの(下)48(帰命本願抄下・大正蔵83巻289頁中段)・玉海222(帰命本願抄下・大正蔵83巻289頁中段・前掲切に後接)・◎高城弘一氏蔵無銘手鑑D(帰命本願抄下・大正蔵83巻290頁上段)・翰墨城285(帰命本願抄下・大正蔵83巻291頁中段)・永青文庫蔵手鑑墨叢194(帰命本願抄下・大正蔵83巻291頁中段・前掲切に後接)・架蔵(西要抄上・大正蔵83巻294頁中段)・◎披香殿209(西要抄上・大正蔵83巻295頁上段)・◎高城弘一氏蔵(西要抄上・大正蔵83巻297頁下段)・◎高城弘一氏蔵(西要抄下・大正蔵83巻301頁下段～302頁上段)・★田中登氏蔵(父子相迎上・大正蔵83巻310頁上段)・大方家蔵古筆貼交屏風(父子相迎上・大正蔵83巻310頁中段)・◎金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(父子相迎下・大正蔵83巻314頁上段)
- (2)鳳凰台91(西要抄下・大正蔵83巻302頁下段)
- ・住蓮《星切》 - ◎宮内庁書陵部蔵元御物手鑑126(父子相迎上・大正蔵83巻305

頁上段)・岩国吉川家蔵翰墨帖59(父子相迎上・大正蔵83巻306頁中段)・京都
観音寺蔵手鑑74(父子相迎上・大正蔵83巻306頁中段～下段)・集古帖35(父子
相迎上・大正蔵83巻308頁中段～下段・伝為尹筆(但し極札不整合))・石川県
美術館蔵手鑑264(父子相迎上・大正蔵83巻309頁中段～下段)・★水野家蔵手
鑑(父子相迎下・大正蔵83巻312頁下段18行～・前掲の小野氏論文参照)・見ぬ
世の友208(父子相迎下・大正蔵83巻313頁下段)・心画帖51(父子相迎下・大正
蔵83巻313頁下段～314上段)・思文閣古書資料目録137号-24(大垣博氏現
蔵・父子相迎下・大正蔵83巻314頁中段)・藻塩草194(父子相迎下巻末・大正蔵
83巻314頁中段～下段・「住蓮」の書写者名あり)

- ・中将姫-◎龍谷大学蔵無銘手鑑(西要抄上・大正蔵83巻294頁中段)
- ・若狭少将-◎高城弘一氏蔵無銘手鑑E(西要抄上・大正蔵83巻293頁下段)・
◎高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(西要抄下・大正蔵83巻303頁上段・極札欠)

[三宝絵詞(岩波新古典文学大系『三宝絵／注好選』の頁数)]

- ・俊頼(源)《東大寺切》-古筆学大成25巻-196図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集
成』-①・16頁15行～)・★『橋場青地家蔵品入札目録』(東美・大正14年3月・
『諸本對照三寶繪集成』-②・17頁16行～)・古筆学大成25巻-178図(個人蔵
手鑑[重美]・18頁4行～・前掲切に後接)・個人蔵(『日本名跡叢刊 91』-27
頁・18頁15行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻-197図(田中親美編『なつ
やま』-28・『諸本對照三寶繪集成』-③・20頁1行～)・思文閣墨蹟資料目録
292号-4(20頁9行～)・古筆学大成25巻-198図(個人蔵冷泉為恭模写類聚故
実・『諸本對照三寶繪集成』-④・21頁2行～)・★個人蔵(安田尚道氏「『三宝絵
詞』東大寺切とその本文(3)」〈『青山語文』16〉・『諸本對照三寶繪集成』-⑤・21
頁12行～)・古筆学大成25巻-179図(長谷寺豊山文庫蔵手鑑・『諸本對照三寶
繪集成』-⑥・21頁15行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻-180図(京都観
音寺蔵手鑑25・『諸本對照三寶繪集成』-⑦・26頁1行～)・古筆学大成25巻-
181図(個人蔵・26頁14行～)・古筆学大成25巻-182図(宮内庁保管手鑑・32頁
7行～)・★関戸氏蔵手鑑(『諸本對照三寶繪集成』-⑧・33頁8行～)・古筆学大
成25巻-199図(月台17・『諸本對照三寶繪集成』-⑨・33頁9行～・前掲切に後

接)・古筆学大成25巻－200図(平凡社刊『書道全集』所載・『諸本對照三寶繪集成』－⑩・33頁13行～・前掲切に後接)・★古筆学大成28巻伝源俊頼筆東大寺切本三宝絵－11(『益田信世氏所蔵品入札目録』〈東美・大正13年10月27日)－80古筆手鑑・名古屋市博物館蔵・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』〈名古屋市博物館・平成元年9月)－160・『諸本對照三寶繪集成』－⑪・33頁16行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－201図(博文社刊『落葉集』－41所載・『岐阜県関町瓢々庵氏所蔵品売立目録』〈名美・昭和3年5月19日)・『諸本對照三寶繪集成』－⑫・34頁3行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－183図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集成』－⑬・34頁8行～・前掲切に後接)・★『諸本對照三寶繪集成』－⑭(40頁1行～)・古筆学大成25巻－202図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集成』－⑮・46頁10行～)・古筆学大成25巻－203図(『布留鏡』2巻1号－2・『河内柘植家当市某家所蔵書画道具入札目録』〈大美・昭和2年12月14日)－92古筆手鑑・『諸本對照三寶繪集成』－⑯・53頁8行～)・古筆学大成25巻－204図(文彩帖65・『諸本對照三寶繪集成』－⑰・54頁3行～)・古筆学大成25巻－205図(個人蔵冷泉為恭模写類聚故実・『諸本對照三寶繪集成』－⑱・54頁13行～)・古筆学大成25巻－206図(五島美術館蔵・『諸本對照三寶繪集成』－⑲・56頁1行～)・古筆学大成25巻－207図(栗原蘆水氏旧蔵無銘手鑑〈ふくやま書道美術館現蔵)・『今村繁三氏蔵品入札目録』〈東美・大正14年4月13日)－86古筆手鑑筆陣・『香雪齋山内氏第二回初山髻華氏蔵品入札目録』〈東美・昭和2年4月11日)－2古筆手鑑筆陣・『諸本對照三寶繪集成』－⑳・56頁6行～・前掲切に後接)・『浄照坊蔵古筆切集』－54(『諸本對照三寶繪集成』－㉑・57頁1行～)・古筆学大成25巻－209図(不二文庫蔵手鑑・『諸本對照三寶繪集成』－㉒・66頁4行～)・古筆学大成25巻－208図(個人蔵手鑑千歳のとも・『諸本對照三寶繪集成』－㉓・66頁10行～)・古筆学大成25巻－210図(個人蔵冷泉為恭模写類聚故実・『諸本對照三寶繪集成』－㉔・66頁11行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－211図(個人蔵・『伯爵徳川家御蔵品入札目録』〈東美・昭和3年10月22日)－58古筆手鑑・『平安の仮名 鎌倉の仮名(出光美術館・平成17年11月)』－23・『諸本對照三寶繪集成』－㉕・67頁8行～)・古筆学大成25巻－212図

(日本学士院蔵手鑑群鳥跡・『諸本對照三寶繪集成』－㉔・67頁13行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－213図(根津美術館蔵四号手鑑・『伯爵小松家当市某大家御蔵器入札目録』〈東美・大正7年11月25日〉－105手鑑帖・『諸本對照三寶繪集成』－㉕・68頁1行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－214図(博文社刊『落葉集』－40・『諸本對照三寶繪集成』－㉖・68頁10行～)・古筆学大成28卷伝源俊頼筆東大寺切本三宝絵－27(『銀座松屋古今名家墨蹟絵画二百選目録』〈昭和52年1月〉－36・『諸本對照三寶繪集成』－㉗・68頁15行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－215図(椿山荘美術館蔵・『諸本對照三寶繪集成』－㉘・69頁14行～)・古筆学大成25卷－216図(個人蔵〈東洋大学図書館現蔵・宮田裕行氏「『三宝絵詞』断簡 二・三について」『文学論藻』77〉・69頁15行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－217図(博文社刊『落葉集』－39・『諸本對照三寶繪集成』－㉙・70頁15行～)・古筆学大成25卷－218図(法書会刊『書苑』所載・74頁1行～・関戸本の内)・古筆学大成25卷－184図(個人蔵・『糟谷家所蔵品入札並売立目録』〈名美・昭和8年3月13日〉－104・『諸本對照三寶繪集成』－㉚・88頁7行～)・古筆学大成25卷－185図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集成』－㉛・『名宝(株式会社名古屋美術倶楽部創立百周年記念茶会・名宝展・平成17年9月)』－5加賀本多家伝来手鑑・88頁15行～・左1行は東大寺切独自部)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－79図(『当市(雁半)中村氏旧蔵品目録』〈京美・大正4年12月13日〉－13・『諸本對照三寶繪集成』－㉜・平成13年10月徳川美術館『彩られた紙 裝飾料紙』－68・前掲切に後接・東大寺切独自部→なお、宮田裕行氏の「『三宝絵詞』断簡 二・三について」〈『文学論藻』77〉には、当該切を「贋作」とする旨の指摘が存する)・古筆学大成25卷－219図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集成』－㉝・89頁7行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－186図(個人蔵手鑑むさし野・『諸本對照三寶繪集成』－㉞・89頁12行～)・古筆学大成25卷－220図(竹柏会刊『古筆浚寒帖』－9・『諸本對照三寶繪集成』－㉟・90頁1行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－221図(金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑69・『諸本對照三寶繪集成』－㊱・90頁12行～)・★個人蔵〈田中親美氏影写〉(安田尚道氏「『三宝絵詞』東大寺切とその本文(3)」〈『青山

語文』16)・『諸本對照三寶繪集成』-③⑨・90頁15行～)・古筆学大成25卷-222
 図(博文社刊『落葉集』-37・『小鑑』-31・『諸本對照三寶繪集成』-④⑩・91頁2
 行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷-223図(見ぬ世の友141・『諸本對照三
 寶繪集成』-④①・91頁10行～)・古筆学大成25卷-224図(『大東急記念文庫善
 本叢刊中古中世篇別卷三 手鑑鴻池旧蔵手鑑』-75・『諸本對照三寶繪集成』
 -④②・92頁1行～・前掲切に後接)・飯島春敬氏編『図説日本の書(昭和45年12
 月)』(『諸本對照三寶繪集成』-④③・93頁8行～)・★『諸本對照三寶繪集成』-
 ④④(94頁3行～)・古筆学大成25卷-225図(『子爵諏訪家御蔵品伯爵某家旧蔵
 品熱田加藤家御蔵品入札目録』〈東美・大正8年3月24日〉-46古筆手鑑・『下條
 桂谷翁遺愛品入札目録』〈東美・大正12年6月4日〉-153古筆手鑑・『涛声館蔵
 品入札目録』〈大美・昭和16年6月5日〉-154古筆手鑑筆陳・『諸本對照三寶繪
 集成』-④⑤・96頁1行～)・臨川書店『日本書古書目録』77号(平成10年2月)-1
 (96頁12行～)・古筆学大成25卷-227図(尚古会刊『ちとせの友』所載・99頁4
 行～・関戸本の内)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文
 と研究(遺稿)①」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・102頁4行～)・古筆学
 大成25卷-226図(個人蔵・『諸本對照三寶繪集成』-④⑥・130頁5行～)・古筆学
 大成25卷-228図(尚古会刊『ちとせの友』-58・140頁11行～・関戸本の内)・
 『上京神田氏所蔵品入札目録』(京美・大正6年12月3日)-3(『諸本對照三寶繪
 集成』-④⑦・142頁4行～)・古筆学大成25卷-229図(『紫水北田家所蔵品入札
 目録』〈東美・昭和9年12月24日〉・『栗山家愛蔵品入札目録』〈東美・昭和10年2
 月27日〉-9・『諸本對照三寶繪集成』-④⑧・142頁10行～・前掲切に後接)・古筆
 学大成25卷-230図(個人蔵手鑑毫戦・『思文閣古書資料目録』197号〈善本特
 集第18輯〉-1古筆手鑑毫戦帖・144頁1行～)・古筆学大成25卷-231図(永青
 文庫手鑑蔵墨叢74・144頁16行～)・円照寺蔵(安田尚道氏「『三宝絵詞』東大寺
 切とその本文(2)」〈『青山語文』12)・左記論文に図版掲載・145頁1行～・前掲切
 に後接)・古筆学大成25卷-187図(個人蔵・145頁12行～)・古筆学大成25卷-
 232図(個人蔵冷泉為恭模写類聚故実・『諸本對照三寶繪集成』-④⑨・146頁16
 行～)・古筆学大成25卷-188図(個人蔵・147頁6行～)・古筆学大成25卷-189

図(個人蔵・147頁10行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－233図(ボストン美術館蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑩・147頁16行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－234図(文雅堂刊『養老』－30・『北摂岸上家某家蔵品大入札会展観目録』〈大美・昭和11年2月10日〉－170古筆手鑑墨寶・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑪・148頁4行～・前掲切に後接)・古筆学大成28巻伝源俊頼筆東大寺切本三宝絵－54(『某家所蔵品入札目録』〈大美・昭和8年12月9日〉－40・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑫・148頁9行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－235図(『古筆展《平安和様書の美》』〈B S N新潟美術館・昭和46年2月〉－東京逸見家蔵・『広岡家蔵品入札目録』〈大美・昭和3年6月18日〉－77古筆手鑑鴈叢・平成18年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－10・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑬・148頁12行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－236図(東京国立博物館蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑭・149頁2行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－237図(個人蔵手鑑・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑮・149頁11行～)・古筆学大成25巻－190図(個人蔵→村上列氏現蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑯・150頁12行～)・古筆学大成25巻－238図(個人蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑰・154頁11行～)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－80図(『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑱・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉－14・155頁7行～)・古筆学大成25巻－239図(個人蔵冷泉為恭模写類聚故実・『諸本対照三寶繪集成』－⑤⑲・156頁9行～)・★『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑩(157頁2行～)・古筆学大成25巻－240図(白鶴美術館蔵手鑑82・『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑪・157頁7行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－241図(個人蔵・『平安・鎌倉の古筆』(松任市立博物館・平成2年10月)－12・『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑫・157頁14行～・前掲切に後接)・古筆学大成25巻－242図(個人蔵・『当市(千治)西村治兵衛氏及某家所蔵品入札目録』〈京美・大正15年4月26日〉－152古筆手鑑・『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑬・162頁2行～)・古筆学大成25巻－243図(フォッグ美術館蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑭ & ⑥⑮・162頁11行～)・★『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑯(165頁6行～)・古筆学大成25巻－191図(不二文庫蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑥⑰・165頁9行～・前掲切に後接)・古筆学大成25

卷伝源俊頼筆東大寺切本三宝絵－解説挿図(釈文一連番号66・博文社刊『落葉集』－36・『諸本対照三寶繪集成』－⑥8・165頁14行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－244図(千草会刊『つちくれ』－54・『諸本対照三寶繪集成』－⑥9・166頁7行～)・古筆学大成25卷－245図(玉海163・『諸本対照三寶繪集成』－⑦0・166頁9行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－192図(個人蔵手鑑・『諸本対照三寶繪集成』－⑦1・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』〈名古屋市博物館・平成元年9月〉117－2・167頁4行～)・『奈良関依水園主所蔵品入札目録』(京美・大正14年3月23日－2左5行)・『諸本対照三寶繪集成』－⑦2・168頁7行～)・古筆学大成25卷－246図(梅沢記念館蔵・『熱田岡本家所蔵品売立目録』〈名美・昭和7年6月4日〉－2頁・『諸本対照三寶繪集成』－⑦3・169頁5行～)・古筆学大成25卷－247図(藻塩草139・『諸本対照三寶繪集成』－⑦4・169頁9行～・前掲切に後接)・個人蔵(平成13年10月徳川美術館『彩られた紙 裝飾料紙』－69・181頁8行～)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)②」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・平成13年10月徳川美術館『彩られた紙 裝飾料紙』－70・181頁13行～・前掲切に後接)・思文閣墨蹟資料目録251号－1(182頁7行～・前掲切に後接)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)④」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・182頁11行～・前掲切に後接)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)⑤」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・182頁15行～・前掲切に後接)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)⑥」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・183頁5行～・前掲切に後接)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)⑦」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・183頁10行～・前掲切に後接)・和田英道氏&小島孝之氏「新出『三宝絵』東大寺切の本文と研究(遺稿)⑧」(『跡見学園女子大学国文学科報』26・183頁15行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－193図(石川県美術館蔵手鑑56・『諸本対照三寶繪集成』－⑦5・187頁14行～)・古筆学大成25卷－248図(個人蔵・『諸本対照三寶繪集成』－⑦6・188頁2行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－249図(個人蔵・

188頁8行～・前掲切に後接)・★『諸本對照三寶繪集成』-⑦⑦(武田憲次郎氏蔵手鑑・192頁1行～)・古筆学大成25卷-250図(個人蔵・192頁5行～・前掲切に後接)・★三井文庫蔵(安田尚道氏「『三寶繪詞』東大寺切とその本文(4)」〈『青山語文』25〉・192頁8行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷-251図(個人蔵・193頁2行～)・古筆学大成25卷-194図(白鶴美術館蔵手鑑83・『諸本對照三寶繪集成』-⑦⑧・195頁5行～)・古筆学大成25卷-195図(個人蔵・195頁9行～・前掲切に後接)・★尾上紫舟氏旧蔵(安田尚道氏「『三寶繪詞』東大寺切とその本文(1)」〈『青山語文』11〉・196頁1行～)・古筆学大成25卷-252図(五島美術館蔵・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』〈名古屋市博物館・平成元年9月〉-161〈山形・慈光明院蔵・名古屋市博物館受託品〉)・『諸本對照三寶繪集成』-⑦⑨・196頁5行～・前掲切に後接)・『諸本對照三寶繪集成』-⑧⑩(197頁8行～)・『奈良関依水園主所蔵品入札目録』(京美・大正14年3月23日)-2右1行(『諸本對照三寶繪集成』-⑧⑪・197頁12行～・前掲切に後接)・古筆学大成25卷-253図(『武州行田百花潭大沢家蔵品展観目録』〈東美・昭和3年3月19日〉-123古筆手鑑・『諸本對照三寶繪集成』-⑧⑫・198頁1行～)・古筆学大成25卷-254図(敬和会刊『夏かけ』所載・書写奥書・関戸本の内)《東大寺類切》『井上書店特別目録』平成8年5月号-11(平成7年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録-44・古筆学大成25卷-235図と同一箇所・148頁12行～)

[四十二の物争(『続群書類従33上』の頁数)]

- ・ 為相(冷泉) - 続々国文学古筆切入門99(631頁上～下段)・柏林社書店古書目録平成7年5月号-18(632頁上段)
- ・ 為忠(二条) - 国文学古筆切入門99(631頁下段)
- ・ 俊孝(北小路) - 京都古書組合総合目録12号-32(633頁上段)
- ・ 淀君 - 古筆手鑑4-120(632頁下段～633頁上段)
- ・ 不明 - (1)佐々木孝浩氏蔵(631頁上段・続群書類従本及び『室町時代物語大成』10巻収載の赤木文庫蔵本・古活字版などよりも若干記述が詳細)

[地蔵縁起絵巻詞書] (田村悦子氏「古筆粟田切について」〈『美術研究』247) 参照)

- ・後崇光院一雁叢16(地蔵縁起絵巻詞書切と認定してよいか存疑であるが、内容は「地蔵農夫にかはりて疵をかうぶりたる事」と近似する)
- ・信実(藤原)《粟田切・法然寺本のツレ》—藻塩草68・翰墨城211(前掲切に後接)・見ぬ世の友148(前掲切に後接・法然寺本地蔵縁起絵巻に前接)・酒井宇吉氏蔵(梅津次郎氏『繪巻物叢誌』挿図61・古典文庫118『地蔵靈驗記絵詞集』—83頁)
- ・不明—(1)六波羅蜜寺蔵(梅津次郎氏「地蔵驗記絵巻 法然寺本」〈『繪巻物殘欠の譜』)—4図・梅津氏によれば、当該切は「粟田切」と同筆であり、法然寺本のツレである可能性が示唆されている)

[十訓抄(岩波文庫『十訓抄』の頁数)]

- ・家雅(花山院)《泉基博氏『校本十訓抄』収載の諸本と比較すると若干の独自異文を有する》—古筆手鑑4—23(第1—42話・64～65頁)

[沙石集(岩波古典文学大系『沙石集』の頁数)]

- ・行俊(世尊寺)—久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部—口絵 I 及び75図(巻5末・248～249頁・紺紙金泥・藤井隆氏「物語系古筆切について(2)」〈『名古屋大学国語国文学』8) 参照・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』—37・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月)—13・但し、沙石集切と認定してよいか存疑)

[舍利和讃(『釈教歌詠全集5』の頁数)]

- ・法守法親王(仁和寺)—(1)《楨尾切》☆藻塩草161(305頁中段)
- (2)《菩提院切》☆見ぬ世の友168(305頁中段)
- (3)京都古書籍・古書画資料目録2号—1581(306頁上段)
- (4)☆披香殿212(306頁中段13行「の浄土おさめたまへ(舍利和讃末尾)」から、「薪讃」と題して、拾遺集1346や三宝絵詞〈中〉に見える「法花経をわかえし

／ことはたき木こりな」へと続く)

[拾遺古徳伝(『法然上人傳全集』収載本の頁数)]

- ・親鸞《片仮名本》－☆霜のふり葉102(巻2・593頁上段)
- ・法守法親王(仁和寺)《片仮名本》－☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－77図(巻5・614頁下段)
- ・不明－(1)《絵付属切・榑崎宗重氏「法然上人傳法繪殘缺」〈『国華』718・「榑崎氏」と略記〉及び梅津次郎氏「拾遺古徳伝絵」〈『絵巻物殘欠の譜』・「梅津氏」と略記〉参照》★榑崎氏－殘缺7(巻3・598頁下段)・榑崎氏－殘缺8(梅津氏－1図〈榑崎氏の翻刻掲出分より約1行半分少ない。梅津氏の図版の詞書の最終行は5文字のみであり、或いは以下は擦り消して1行分は截断か)・巻3・598頁下段・前掲切に後接)・榑崎氏－殘缺6(梅津氏－2図・巻6・623頁下段)・★榑崎氏－殘缺1(梅津氏－3図〈詞書は5行分のみ)・巻6・624頁上～下段)・梅津氏－4図前半(巻6・625頁下段)・梅津氏－4図後半(巻6・626頁上段)・★榑崎氏－殘缺10(巻6・627頁上段)・榑崎氏－殘缺9(梅津氏－5図・昭和51年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－66・巻6・627頁上段・前掲切に後接)・★榑崎氏－殘缺3(巻6・627頁下段)・★榑崎氏－殘缺4(巻6・627頁下段・前掲切に後接)・榑崎氏－殘缺5(梅津氏－7図・巻6・627頁下段・前掲切に後接)

[十二類合戦絵巻詞書] ➡ 拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44) 参照

[正像末法和讃(大正蔵の頁数及び岩波文庫『親鸞和讃集』の一連番号)]《小野恭靖氏「仏教関連古筆切資料考」(『学大国文』47) 参照、なお、小野氏の論文に未登録のものには「◎」を付した》

- ・順如(光善寺)－田中登氏蔵(大正蔵83巻667頁B段17・『親鸞和讃集』－313)
- ・証如(本願寺)－◎京都古書組合総合目録18号－1246(大正蔵83巻665頁B段18途中～末＋書写奥・『親鸞和讃集』－256途中～末・抜書・図版不鮮明)

[(仮名本)聖徳太子伝]

- ・家長(源)《天王寺切・原書名は「太子御帳扉絵言」・仮名聖徳太子伝暦か・『続群書類従8上』の頁数》－平成2年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録

- 52古筆切一括(巻首→端作「太子御帳扉繪言」・巻上・4頁上段)・古筆学大成25巻—269図(島根美保神社蔵手鑑85・巻上・4頁下段)・★古筆学大成28巻伝源家長筆天王寺切本仮名聖徳太子伝暦—2(水府明德会蔵大手鑑・巻・6頁上段)・古筆学大成25巻—270図(見ぬ世の友150・巻上・6頁上段・前掲切に後接)・古筆学大成25巻—271図(個人蔵模写手鑑・巻上・6頁上段・前掲切に後接)・古筆学大成25巻—264図(個人蔵手鑑・巻上・9頁上～下段)・古筆学大成25巻—266図左2行(個人蔵手鑑碧玉・巻上・9頁下段・前掲切に後接)・古筆学大成25巻—265図(玉海164・巻上・9頁下段)・古筆学大成25巻—266図右4行(個人蔵手鑑碧玉・巻上・10頁上段)・個人蔵手鑑左3行(小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀観の古筆切)について—古筆切拾塵抄(5)—」〈『立教大学日本文学』78〉参照・巻下・23頁上段)・古筆学大成25巻—267図左6行(藻塩草147・巻下・27頁上～下段)・個人蔵手鑑右2行(小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀観の古筆切)について—古筆切拾塵抄(5)—」〈『立教大学日本文学』78〉参照・巻下・27頁下段)・古筆学大成25巻—267図右2行(藻塩草147・不明)
- ・後鳥羽院《仮名聖徳太子伝暦略本か・『続群書類従8上』の頁数》—古筆学大成25巻—272図(個人蔵・巻下・27頁下段～28頁上段)
 - ・宗鑑(山崎)《現時点では切の内容と完全に一致する太子伝を確認出来ない》—久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部—94図・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部—95図・高城弘一氏蔵手鑑筆鑑・心画帖58・芦屋釜102・藁叢(人)138・落合博志氏蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録—62・『古筆への誘い』—63)・★日本学士院蔵手鑑群鳥蹟(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録—62の解説による)
- [浄土高僧和讃(大正蔵の頁数及び岩波文庫『親鸞和讃集』の一連番号)]《小野恭靖氏「仏教関連古筆切資料考」(『学大国文』47)参照、なお、小野氏の論文に未登録のものには「◎」を付した》
- ・親鸞—◎思文閣墨蹟資料目録332号—6(大正蔵83巻660頁C段6・『親鸞和讃

- 集』-134)・◎思文閣古書資料目録105号-55(大正蔵83巻663頁B段26・『親鸞和讃集』-205)・◎昭和63年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録-123(大正蔵83巻664頁A段12・『親鸞和讃集』-227・伝不明)
- ・蓮如(本願寺)-京都古書組合総合目録15号-1327(大正蔵83巻661頁A段5・『親鸞和讃集』-143)
 - ・不明-(1)★二条弼基氏蔵手鑑(小野恭靖氏「古筆切和讃資料三種」〈『中世歌謡の文学的研究』〉注16及び前掲の小野氏論文参照・大正蔵83巻662頁C段13・『親鸞和讃集』-192)
- [浄土五祖絵詞書(三山進氏「光明大師繪詞傳について」〈『国華804』〉・真保亨氏「浄土五祖絵(藤田美術館蔵)について」〈『MUSEUM』285〉・若杉準治氏「浄土五祖絵について」〈『学叢』13〉など参照)]
- ・行俊(世尊寺)-今治市河野美術館手鑑藁叢169(道綽卷)・日本大学蔵無銘手鑑(道綽卷)・東山御文庫蔵手鑑(不明)・本願寺蔵手鑑鳥跡鑑(不明・伝行忠筆)・中村健太郎氏蔵(不明)
- [浄土真要鈔(大正蔵の頁数)]
- ・実如(本願寺)-★芦屋釜105(大正蔵83巻761頁下段)
 - ・親鸞-思文閣古書資料目録173号〈善本特集13輯〉-28古筆手鑑敬愛帖(大正蔵83巻765頁下段)
- [浄土和讃(大正蔵の頁数及び岩波文庫『親鸞和讃集』の一連番号)]《小野恭靖氏「仏教関連古筆切資料考」(『学大國文』47)参照、なお、小野氏の論文に未登録のものには「◎」を付した》
- ・覚如(本願寺)-◎『30周年記念古書目録』(阪急古書のまち・平成17年11月)中尾松泉堂書店カラー版-28古筆帖花ちとり(『阪急古書のまち古書目録』〈平成18年6月〉)中尾松泉堂書店モノクロ版-122・大正蔵83巻658頁C段弥陀経意2・『親鸞和讃集』-83)
 - ・顕如(本願寺)-◎京都古書研究会『特選古書在庫目録』8号-19(大正蔵83巻658頁B段8・『親鸞和讃集』-80)

- ・実如(本願寺)－◎思文閣古書資料目録196号－16(大正蔵83巻655頁C段4・『親鸞和讃集』－6・切左端1行分〈「歸命」の送り仮名の「セヨ」か〉裁断)
- ・親鸞－(1)◎慶安手鑑80(大正蔵83巻655頁C段4・『親鸞和讃集』－6)・◎思文閣墨蹟資料目録348号－5(大正蔵83巻655頁C段5・『親鸞和讃集』－7・前掲切に後接)・◎昭和52年6月松坂屋上野店『第6回松坂屋古書籍・書画幅逸品大即売会目録』－413(大正蔵83巻658頁B段2・『親鸞和讃集』－74)・◎京都古書籍・古書画資料目録3号－637(大正蔵83巻659頁B段10・『親鸞和讃集』－105)
 - (2)京都古書組合総合目録15号－1326(大正蔵83巻657頁C段11・『親鸞和讃集』－61)
- ・蓮如(本願寺)－(1)古今墨林118(大正蔵83巻656頁C段34・『親鸞和讃集』－36)・◎披香殿211(大正蔵83巻657頁A段37・『親鸞和讃集』－39)・★竹島清次郎氏蔵手鑑(小野恭靖氏「古筆切和讃資料三種」〈『中世歌謡の文学的研究』〉注16及び前掲の小野氏論文参照・大正蔵83巻659頁A段5・『親鸞和讃集』－91)
 - (2)☆◎永青文庫蔵手鑑墨叢199(大正蔵83巻658頁C段「已上弥陀經意」～「弥陀和讃 九首」・『親鸞和讃集』－60頁～61頁)
 - (3)◎京都古書組合総合目録18号－368(大正蔵83巻658頁C段諸經意弥陀佛和讃2・『親鸞和讃集』－88)・◎京都古書組合総合目録18号－367(大正蔵83巻659頁B段9・『親鸞和讃集』－104)
- ・不明－◎京都古書組合総合目録18号－369(大正蔵83巻657頁B段「已上四十八首」～「阿難尊者」・『親鸞和讃集』－39頁～40頁)

[新樂府絵巻詞書(佚書)]

- ・良経(後京極)《九条殿切》－高城弘一氏蔵(胡旋女)・古筆学大成24巻－163図(静嘉堂文庫蔵・平成13年10月徳川美術館『彩られた紙 装飾料紙』－132・胡旋女)・★三条家旧蔵(牧野和夫氏『中世の説話と学問』－258頁によれば、東

京大学史料編纂所蔵「三条公爵家所蔵記録」に昭和6年の影写が存する旨・新豊折臂翁・古筆学大成24巻－164図(見ぬ世の友45・馴犀)・古筆学大成24巻－166図(『布留鏡』2巻4号－4所載・昭和59年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－1043・古筆学研究所現蔵・蛮子朝)・古筆学大成24巻－165図(『侯爵九条家御什器入札目録』〈東美・大正11年7月10日〉－36・『静林茅舎所蔵品入札目録』〈東美・昭和16年3月11日〉－8・驃国楽・伝寂蓮筆)・古筆学大成24巻－167図(『第37回清和書展図録』・縛戎人)

- ・不明－(1)★藤田美術館蔵為恭関係模本類の内(『絵巻物残欠の譜』－36頁「追記」参照・新豊折臂翁)

[雀の発心(『室町時代物語大成』7巻所収本の頁数)]

- ・栄雅(飛鳥井)《女一位画賛》－京都古書組合総合目録15号－1779(同内容の絵巻の内、最も簡素な本文を有するとされる日本民芸館蔵伝飛鳥井一位局筆本よりも更に簡略な本文である・584頁上段～585頁上段)

[住吉物語](岩波新古典文学大系『落窪物語／住吉物語』の頁数・藤井隆氏「住吉物語の古筆切について」〈『愛知大学国文学』20〉参照、なお、藤井氏の論文に未登録のものには「◎」を付した)

- ・為相(冷泉)《伝為明筆の成田図書館蔵本の落丁部の内の一葉、横山重氏『住吉物語(本文篇)』－15頁4行目の「思そめてし事なれば」に直接後接する》－◎八木書店古書目録51号(平成10年12月)－287(上巻・305頁➡吉海直人氏「『住吉物語』研究の軌跡と展望」〈『解釈と鑑賞』68巻2号〉参照)
- ・為定(二条)《略本系統・天理藤井本・成田本・蓬左文庫本などの本文に近い・朗詠集用書写料紙転用か》－国文学古筆切入門91(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寝覚物語絵巻』－25・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉－33・藤井隆氏「王朝物語の古筆切－その地位と書写様式を中心に－」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版③・上巻・319～320頁)
- ・後土御門院《略本系統・天理藤井本・成田本・刊本などの本文に近い》－続々国文学古筆切入門90(上巻・326頁)

- ・ 勾当内侍(後土御門院)《略本系統の独異本か》—◎雁叢59(下巻・348頁)
 - ・ 勾当内侍(後柏原院)《絵付属切・独異本》—藤井隆氏蔵[甲](「住吉物語の古筆切について」〈『愛知大学国文学』20〉・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉—18・下巻・339頁)・藤井隆氏蔵[乙](「住吉物語の古筆切について」〈『愛知大学国文学』20〉・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉—18・下巻・343～344頁)・★不明(伊井春樹氏「古筆と作品流布散文篇」〈『リポート笠間』26〉参照)
 - ・ 清超(豊原西方院)《広本系統・真銅本の本文に殆ど一致》—続国文学古筆切入門96(上巻・318頁)
 - ・ 西行《略本系統・天理藤井本・刊本などの本文に近いが、省筆部が散見する》—◎古筆学大成24巻—106図(個人蔵・下巻・336～337頁)
 - ・ 邦高親王(伏見宮)《略本系統・成田本の本文に近い》—★穂久迩文庫蔵手鑑(藤井隆氏「物語系古筆切について(補遺篇)」〈『名古屋大学国語国文学』14〉参照・上巻・310～311頁)
 - ・ 不明—(1)《東京国立博物館蔵絵巻の詞書部》◎M&Jバーク財団蔵(続日本の絵巻16『住吉物語絵巻 小野雪見御幸絵巻』解説101頁挿図➡梅津次郎氏の「住吉物語絵巻」〈『絵巻物残欠の譜』46～47頁〉)に紹介される某氏蔵模本の詞書部と一致)
 - (2)《白描絵巻切・略本系統・成田本の本文に近い》某家蔵(昭和54年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録—94・上巻・320頁)・◎昭和56年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録—114(昭和60年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録—102・上巻・321～322頁)
 - (3)《絵巻切・略本系統の独異本か》◎『東京古典會創立六十周年記念善本入札目録』(昭和45年11月)—600(上巻・309頁)
- [千手御前物語(『室町時代物語大成』8巻所収本の頁数)]
- ・ 勾当内侍(未詳)—高城弘一氏蔵(小林謙一氏蔵奈良絵本の本文にほぼ一致・367頁上段)

[善無畏三藏絵巻詞書(佚書・平塚泰三氏「『善無畏三藏絵巻』詞書断簡について」(『金鯨叢書－史学美術史論文集－』21)参照・詞書に対応する大正蔵の頁数)]

・行尹(世尊寺)－『古筆聚成』－28(大正蔵50卷715頁上段)

[早歌(外村久江氏&外村南都子氏『早歌全詞集』(「中世の文学」第1期第18回配本)の頁数・「新収資料紹介43外村久江氏旧蔵『早歌資料』」(『国文学研究資料館報』50)及び『中世歌謡資料集(国文学研究資料館影印叢書3)』参照)]

・為右(二条)－国文学研究資料館蔵(外村久江氏旧蔵・『中世歌謡資料集(国文学研究資料館影印叢書3)』－92頁(解題によれば2行+3行の呼び継ぎ・本文連続)・宴曲抄中巻・郢律講惣礼・118頁・極札欠)・国文学研究資料館蔵(外村久江氏旧蔵・『中世歌謡資料集(国文学研究資料館影印叢書3)』－93頁・宴曲抄中巻・三島詣・119頁)

・後小松院－高城弘一氏蔵無銘手鑑H(宴曲集巻4・無常・84頁)

・正徹(招月庵)－国文学研究資料館蔵(外村久江氏旧蔵・『早歌全詞集』口絵・『中世歌謡資料集(国文学研究資料館影印叢書3)』－94頁(解題の注3には、国文学研究資料館蔵正徹自筆「秘々抄(近代秀歌の一伝本)」の前遊紙裏に、本文と同筆で早歌の散佚曲の冒頭部が書き留められている旨の重要な指摘が見える→同書424頁図版V参照)・撰要両曲巻・余波・332頁)

・尊道(青蓮院)－☆石川県美術館蔵手鑑178(宴曲集巻4・海道下・79頁)

・良慶(一条院)－国文学研究資料館蔵(外村久江氏旧蔵・同氏『早歌の研究』100頁(筆者を「坂阿」と推定)・『国文学研究資料館 創立30周年記念 特別展示図録』－23・『中世歌謡資料集(国文学研究資料館影印叢書3)』－91頁(解題で前掲の筆者に関する推定を補強)・撰要目録巻・31頁)

・不明－(1)龍谷大学蔵無銘手鑑(宴曲集巻5・朝・86頁)

(2)九州大学附属図書館支子文庫蔵手鑑汲古帖(真曲抄・対楊・149頁)

(3)中村健太郎氏蔵(異説七徳事・異説秘抄口伝巻・301頁)

[曾我物語]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44)参照

[太平記]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44)参照

[田歌(小野恭靖氏「田歌切資料考」及び「田歌切資料続考」(『中世歌謡の文学的研究』)参照)]

- ・為恭(冷泉)《伝寂蓮筆切の模写・後掲の『瓢々庵氏所蔵品入札目録』収載切に前接》—思文閣墨蹟資料目録241号—121(大嘗会之田歌～美濃田歌)
- ・寂蓮《田歌切》—古筆学大成24巻—259図(不二文庫蔵・大嘗会之田歌)・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』(名古屋市博物館・平成元年9月)—116(大嘗会之田歌)・★佐佐木信綱氏採集断簡「すぎたてりとかや～」(大嘗会之田歌・尾張田歌)・『瓢々庵氏所蔵品入札目録』(京美・昭和3年6月4日・美濃田歌)・古筆学大成24巻—261図(今宮神社蔵・美濃田歌)・★『一誠堂古書時報』32号(昭和35年4月)掲載断簡(美濃田歌)・古筆学大成24巻—251図(桑山美術館蔵手鑑・筑紫田歌)・古筆学大成24巻—256図(個人蔵・筑紫田歌)・古筆学大成24巻—258図(個人蔵・筑紫田歌)・古筆学大成24巻—257図(翰墨城259・筑紫田歌)・佐佐木信綱氏採集断簡「やかいたにてもや～」(小松正衛氏『骨董入門』(保育社カラーブックスデラックス版29・昭和48年12月)—91頁・『平安の仮名 鎌倉の仮名(出光美術館・平成17年11月)』—57・陸奥国田歌)・古筆学大成24巻—255図(個人蔵・陸奥国田歌)・古筆学大成24巻—252図(個人蔵・国名不詳)・★佐佐木信綱氏採集断簡「このとのゝいぬ～」(国名不詳)・古筆学大成24巻—253図(東京国立博物館蔵・国名不詳)・古筆学大成24巻—260図(『当市菅井家蔵品入札並ニ売立目録』(名美・大正13年11月4日)—18・竹柏会刊『百代草』—17・国名不詳)・古筆学大成24巻—254図(春敬記念書道文庫蔵・国名不詳)・『平成新修古筆資料集 第1集』—68(国名不詳)

[高倉院昇霞記(『群書類従29』の頁数)]

- ・資敦(佐々木)—久曾神昇氏蔵(321頁上段・日比野浩信氏のご教示による)

[竹取物語(新井信之氏『竹取物語の研究 本文篇』所収の「古本」の頁数、切冒頭が「古本」と大きく異なっている場合には切の末尾により示した)]

- ・阿仏尼—★本文及び現蔵者不明(藤井隆氏「物語系古筆切について(補遺

篇)』(『名古屋大学国語国文学』14)参照)

- ・後光厳院—高城弘一氏蔵(4頁9行～・求婚・極札欠)・久曾神昇氏蔵(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』—20(1)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部—84図・11頁10行～・蓬萊の玉の枝)・★古筆学大成28巻伝後光厳天皇筆竹取物語切—1(毘沙門堂旧蔵古筆手鑑「竜雄」収載・現蔵者不明・新井信之氏『竹取物語の研究 本文篇』参照・15頁5行～・火鼠の皮衣)・古筆学大成23巻—1図(都立中央図書館加賀文庫蔵手鑑古名筆帖・20頁4行～・龍の首の玉・伝為定筆)・古筆学大成23巻—2図(志香須賀文庫蔵・久曾神昇氏「竹取物語新出古鈔断簡の意義」(『愛知大学国文学』8)参照・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』(名古屋市博物館・平成元年9月)—118・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』—20(2)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部—85図・春日井市道風記念館『国文学と古筆』(平成16年10月)—16・21頁15行～・龍の首の玉)・古筆学大成23巻—3図(個人蔵手鑑古筆帖・25頁14行～・燕の子安貝)・『鶴見大学蔵貴重書展解説図録 古典籍と古筆切』—51(『鶴見大学図書館蔵貴重書80選 和歌と物語』—44【参考】・南園文庫旧蔵・～26頁8行・帝の求婚)・続国文学古筆切入門83(田中登氏「物語古筆研究覚書」(久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)—図版3・～27頁6行・帝の求婚)・続々国文学古筆切入門—補遺1(28頁7行～・帝の求婚)・『平成新修古筆資料集 第2集』—10(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』—21・田中登氏「物語系古筆切三種」(『国文学(関大)』83～84)参照・29頁13行～・帝の求婚)

[玉虫草子(『室町時代物語大成』8巻所収本の頁数)]

- ・勾当内侍(後土御門院)《奈良絵本切》—須磨寺塔頭正覚院所蔵古筆貼交屏風52(〈丹緑本)600頁下段～601頁上段・〈絵巻)603頁下段)
- ・不明—平成14年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録—187(〈丹緑本)599頁下段)

[千曲の川(散佚物語)]

- ・兼好(吉田)－高城弘一氏蔵(風葉集485及び同左注歌相当部・極札は極印を欠いており、切自体の形態も、伝称筆者の時代からはかなり下ったものと推定される「横型奈良絵本風」であり、或いは、「千曲の川」そのものではなく、改作の室町物語である可能性もあるか)

[長恨歌抄(国田百合子氏『長恨歌・琵琶行抄』の頁数・拙稿「清原宣賢関連の古筆切について」〈『龍谷大学仏教文化研究所紀要』43)参照、なお拙稿に未登録のものには「◎」を付した)]

- ・輝資(日野)《仮名本・当該切の出典の解明は、後掲の大和文華館の展示図録162頁(澤田和人氏執筆)の指摘に基づく》－大垣博氏蔵(総説部・146頁)・京都国立博物館蔵手鑑翰墨場50(「雲鬢花顔金歩揺」句文～注途中・154頁)・東山御文庫蔵手鑑毫海(「尽日君主王看不足」注途中～「漁陽鞞鼓動地来」注途中・157頁)・◎架蔵(「六軍不發無奈何」注途中～同途中・159～160頁)・架蔵(「六軍不發無奈何」注途中～同途中・160頁・伝尊伝筆)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－98図(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』－29・「君主掩面救不得」注途中～同途中・162頁)・古今墨林78(「雲棧縈紆登劍閣」注途中～「旌旗無光日色薄」注途中・162～163頁)

[徒然草]

- ・応胤(梶井宮)－思文閣古書資料目録164号－244手鑑帖(116～117段)
- ・義視(大智院)－国文学古筆切入門100(194段)
- ・兼載(猪苗代)－稲垣泰一氏蔵(「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その二)」〈『金城国文』66〉－A表裏・30～32段・極札欠)・続々国文学古筆切入門100(73段)・稲垣泰一氏蔵(「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その二)」〈『金城国文』66〉－B表裏・44～46段・極札欠)・稲垣泰一氏蔵(「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その二)」〈『金城国文』66〉－C表裏・85～87段・極札欠)・稲垣泰一氏蔵(「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その二)」〈『金城国文』66〉－D表裏・87段・極札欠・前掲切に後接)・稲垣泰一氏蔵(「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その二)」〈『金城国文』66〉－E表裏・130～131段・極札欠)・青柳隆志氏蔵(稲垣泰一氏「《資料紹介》架蔵古筆切覚書(その三)」〈『金城国文』67〉－G表裏・131～134段・極札

欠・前掲切に後接)

- ・光悦(本阿弥)－思文閣墨蹟資料目録216号－73(3段)・思文閣古書資料目録181号－271(平成14年度『京都古典会特別市会目録』－6・19段)
- ・光広(烏丸)－永青文庫蔵手鑑墨叢137(75段)
- ・秀忠(台徳院)－☆永青文庫蔵手鑑墨叢241(137段)
- ・素白(荒木)－芦屋釜118(21段)
- ・宗伊(杉原)－京都古書組合総合目録12号－74(82段)
- ・通勝(中院)－★藤井隆氏蔵2面呼び継ぎの内の右面3行(23段・「物語系古筆切について(補遺篇)」〈『名古屋大学国語国文学』14)参照)・★藤井隆氏蔵2面呼び継ぎの内の左面7行(24～25段・「物語系古筆切について(補遺篇)」〈『名古屋大学国語国文学』14)参照)・昭和49年11月大丸東京店秘蔵古書・書画幅大即売展目録－8(219段・当該切の出典の解明は中原香苗氏のご教示による)
- ・不明－(1)高城弘一氏蔵(19段)
 - (2)高城弘一氏蔵(2面続きの内の左面・21～22段)・高城弘一氏蔵(2面続きの内の右面・49段)
 - (3)思文閣古書資料目録137号－87(4面続き・15段末・19段・24段冒頭・抄出本)

[東国陣道記(『群書類従18』の頁数)]

- ・雅楽助(清水)－中村健太郎氏蔵(765頁下段)・古今墨林178(766頁下段)・M & J バーク財団蔵手鑑藻鏡(766頁下段・前掲切に後接)

[土佐日記(岩波新古典文学大系『土佐日記／蜻蛉日記／紫式部日記／更級日記』の頁数)]

- ・保昌(藤原)《推定書写時期は「江戸期」に下るか》－兼築信行氏蔵(「土佐日記の古筆切」〈田中隆昭氏編『日本古代文学と東アジア』・勉誠出版)参照・27頁)
- ・不明－(1)某氏蔵(11頁・定家様・但し定家本の模写ではない・高城弘一氏のご教示による)

[とはずがたり(日本古典全書『とはずがたり』の頁数)]

- ・兼実(九条)－古筆学大成24巻－113図(古筆学研究所此君書屋蔵手鑑・巻2・265頁)・田中登氏蔵(『『とはずがたり』の新出古写断簡』〈『汲古』43)・『平成新修古筆資料集 第3集』－50・巻2・268頁・伝西行筆)

[寢覚物語(田中登氏他編著『寢覚物語欠巻部資料集成』の頁数)]

- ・為秀(冷泉)－古筆学大成24巻－65図(弥彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・但し、後掲の田中氏論文では、古筆学大成の「寢覚物語切」との認定に対して否定的見解を提示→田中登氏「伝後光厳院筆物語六半切は『寢覚』の断簡かー付、伝冷泉為秀筆夜の寢覚物語切についてー」〈『国文学(関大)』88)参照)
- ・慈円－☆古筆学大成25巻－384図(個人蔵手鑑・201頁・伝有家筆)・『古筆切の国文学的研究』－57図(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』－72(1)・『平成新修古筆資料集 第2集』－59・201～202頁)・『平成新修古筆資料集 第1集』－67(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』－72(2)・田中登氏「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版9・202頁)
- ・寂蓮《絵巻詞書・大和文華館蔵本のツレ》－続国文学古筆切入門95(平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寢覚物語絵巻』－2・田中登氏「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版8・196頁)

[(仮名本)念仏鏡(大正蔵の頁数)]

- ・為家(藤原)－古筆学大成25巻－174図(個人蔵手鑑・大正蔵47巻122頁中段)・☆『浄照坊蔵古筆切集』－3(大正蔵47巻122頁下段)・古筆学大成25巻－175図(石川県美術館蔵手鑑192・大正蔵47巻125頁上段)・古筆学大成25巻－176図(西円寺蔵古手鑑・大正蔵47巻125頁下段)

[念仏得失義(『昭和新修法然上人全集』の頁数)]

- ・法然《思文閣古書資料目録178号(善本特集14輯)－78の伝法然筆「十二問答」と同筆で、縦の寸法も完全に一致しており、一連の写本と推定される》－☆玉海225(987頁)

[長谷寺縁起絵巻(宮次男氏「研究資料 公刊 長谷寺縁起 詞書」〈『美術研究』278)の頁数)]

- ・不明一(1)《絵付属切・出光美術館蔵本系統》昭和54年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録-1135(上巻・142頁中段)・平成7年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録-137(上巻・142頁中段)・『書画 蒐集と鑑賞』25号-23(思文閣墨蹟資料目録255号-1・中巻・144頁下段)・昭和39年5月三都古典連合会『古典籍展観大入札会目録』-32(下巻・147頁上～中段)

[八幡愚童訓(日本思想大系『寺社縁起』所収の「八幡愚童訓甲」の頁数・なお、小野尚志氏の『八幡愚童訓諸本研究 論考と資料』に未登録のものには「◎」を付した)]

- ・後崇光院一★◎宇和島伊達文化保存会蔵手鑑筆の海(170頁下段・小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀覯の古筆切)について-古筆切拾塵抄(5)-」〈『立教大学日本文学』78)参照)・◎思文閣古書資料目録149号-15古筆色紙短冊貼交屏風(『平成新修古筆資料集 第3集』-10・172頁上段～下段)・◎第107回京都近鉄百貨店古書籍第即売会目録-174(173頁下段)・◎古筆手鑑4-12(久曾神昇氏蔵・180頁下段)・小野尚志氏蔵(同氏「『八幡愚童訓』の断片」〈『八幡愚童訓諸本研究 論考と資料』)-図版 a・181頁下段)・◎白鶴美術館蔵手鑑43(188頁下段・伝尊良親王筆)・小野尚志氏蔵(同氏「『八幡愚童訓』の断片」〈『八幡愚童訓諸本研究 論考と資料』)-図版 b・191頁上～下段)・国文学古筆切入門98(194頁下段～195頁上段)・★◎思文閣墨蹟資料目録59号(196頁下段)・小野尚志氏蔵(同氏「『八幡愚童訓』の断片」〈『八幡愚童訓諸本研究 論考と資料』)-図版 c・203頁上～下段)・◎高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(204頁上段～下段)・★手鑑華毫肆(小野尚志氏「『八幡愚童訓』の断片」〈『八幡愚童訓諸本研究 論考と資料』)-付記・不明➡なお、「華毫肆」との銘を有する手鑑は、平成9年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録-55に見える)

[彦火々出見尊絵巻詞書(『室町時代物語大成』11巻所収本の頁数・梅津次郎氏「吉備大臣繪をめぐる覚え書き」〈『繪巻物叢考』)参照)]

- ・雅経(飛鳥井)－慶安手鑑43(巻4・29頁上～下段・模刻本)

[百寮訓要抄(『群書類従5』の頁数)]

- ・不明－高城弘一氏蔵(640頁下段)

[福富草紙詞書]

- ・後崇光院－(1)☆久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－96図(上巻巻首部・
(2)の右3行とほぼ一致)

(2)宮内庁書陵部蔵(粉河寺縁起紙背・梅津次郎氏『繪巻物叢誌』挿
図151・石塚一雄氏「後崇光院宸筆物語説話断簡について」〈『書
陵部紀要』17〉参照・上巻巻首部)

[藤河の記(『群書類従18』の頁数)]

- ・兼良(一条)－『平成新修古筆資料集 第1集』－23(639頁下段・2行端切2枚継
ぎ合わせ、順序逆転)

[風俗歌(岩波古典文学大系『古代歌謡集』所収本の一連番号)]

- ・西行－古筆学大成24巻－265図(弥彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・15と19)

[文机談]

- ・後円融院《菊亭本佚失部》－南園文庫(高田信敬氏)蔵(福島和夫氏編『中世音
楽史論叢』〈和泉書院・平成13年11月〉－口絵〈切裏面とともにカラー図版掲
載〉・同書収載の岩佐美代子氏「『菊亭本文机談』構成推考」参照)

[文正草子(岡田啓助氏『文正草子の研究』の章段数及び頁数)]

- ・勾当内侍(後土御門院)《異本系統》－高城弘一氏蔵(岡田氏分類の異本系統
の中ではA系統〈筑波大本〉に最も近い・37段・104～105頁)
- ・不明－(1)《異本系統・江戸初期横型奈良絵本詞書断簡》架蔵(岡田氏分類の異
本系統の中ではB系統〈長尾板本〉に最も近い・27～28段・91～92
頁)

[平家物語(源平盛衰記)]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化
研究所紀要』44)参照

[平治物語]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀
要』44)参照

[弁内侍日記(新編日本古典文学全集『中世日記紀行集』所収本の頁数)]

- ・ 為相(冷泉)－明眼院蔵手鑑(252～253頁)
- ・ 為明(二条)－古筆学大成24巻－112図(根津美術館蔵一号手鑑・191頁)

[保元物語]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』44)参照

[方丈記(岩波新古典文学大系『方丈記／徒然草』の頁数)]

- ・ 光広(烏丸)－某寺蔵(梅谷繁樹氏「伝烏丸光広卿筆『方丈記』断簡」〈『園田語文』5)・4頁)

[北条泰時消息(『中世法制史料集第1巻鎌倉幕府法』収載本の頁数)]

- ・ 清超(豊原西方院)－高城弘一氏蔵無銘手鑑K(58頁1行～2行)
- ・ 尊道(青蓮院)－☆八雲34(57頁7行～10行)

[法然上人伝絵詞(「拾遺古徳伝」については別途立項)]

- ・ 不明－(1)《善導寺本「法然上人伝法絵流通」系統・『浄土宗全書17』の頁数》梅津次郎氏「新出の法然上人傳法繪について」〈『繪巻物叢考』〉－殘缺1(巻3〈原態は巻下〉68頁上段～69頁上段)・同一殘缺3(巻3〈原態は巻下〉69頁上段・前掲詞書に後接)・同一殘缺5(巻3〈原態は巻下〉69頁上～下段・前掲詞書に後接・末尾2行は善導寺本未見)・同一殘缺6(巻3〈原態は巻下〉画中詞・善導寺本未見)・同一殘缺7(巻3〈原態は巻下〉画中詞・善導寺本未見)・同一殘缺8(巻3〈原態は巻下〉69頁下段・殘缺5詞書に後接)・同一殘缺9(巻3〈原態は巻下〉69頁下段～70頁上段・殘缺8との間に1行分欠脱あり)・同一殘缺11(巻3〈原態は巻下〉70頁上段・前掲詞書に後接)・同一殘缺12前半(巻3〈原態は巻下〉70頁上～下段・前掲詞書に後接)・同一殘缺13(図版未掲載)(巻3〈原態は巻下〉71頁上段+画中詞・殘缺8との間に数行分欠脱あり)・同一殘缺12後半(巻3〈原態は巻下〉71頁上～下段・途中に善導寺本未見の絵及び画中詞を含む)・同一殘缺14(巻3〈原態は巻下〉71頁下段～72頁下段・前掲詞書に後接)・同一殘缺15(巻3〈原態は巻下〉画中詞・善導寺本未見)・同一殘缺18(巻4〈原態は巻下〉75頁下段+善導

寺本所見の画中詞)・同一殘缺19(卷4(原態は卷下)75頁下段～76頁上段～善導寺本所見の画中詞～76頁下段・前掲画中詞に後接)

(2)《善導寺本「法然上人伝法絵流通」系統の抄出本》金沢文庫蔵2紙(納富常夫氏「『伝法絵略記抄』断簡について」〈『駒沢大学仏教学部研究紀要』50〉参照)

[宝物集](岩波新古典文学大系『宝物集／閑居友／比良山古人霊記』の頁数・山下哲郎氏「『宝物集』の古筆切に関する覚書」〈『駒沢国文』36〉参照)

- ・ 教家(弘誓院)－(1)『江州浅見家所蔵品入札目録』(京美・昭和3年9月24日)－87古筆手鑑花月(高橋伸幸氏「古筆切考証」〈『史料と研究』7〉参照・卷2・81頁)・国文学古筆切入門96(卷2・85～86頁)・貫前神社蔵古筆手鑑(小島孝之氏「治承二年右大臣家百首の歌人、その他(稀観の古筆切)について－古筆切拾塵抄(5)－」〈『立教大学日本文学』78〉参照・卷2・100～101頁)
- (2)久曾神昇氏『私撰集殘簡集成』－88図(卷3・117頁)・国文学古筆切入門97(卷3・119頁)
- (3)続国文学古筆切入門99(卷6・271～272頁)
- ・ 後奈良院－東山御文庫蔵(『宸翰英華』222〈解説－410番〉・2紙4面分・片仮名本・小泉弘氏「後奈良天皇御宸筆『宝物集』断簡の発見」〈『語学文学会紀要』2〉参照・卷5・219～226頁の抄出)
- ・ 良経(後京極)－『平成新修古筆資料集 第3集』－15(卷3・121頁)

[(仮名本)法華経(岩波文庫『法華経 上中下』の頁数)]

- ・ 家隆(藤原)－(1)古筆学大成25卷伝藤原家隆筆仮名法華経切(1)－解説挿図(积文一連番号1・『中京古川氏某旧家所蔵品入札目録』〈京美・昭和2年3月7日〉)－153古筆手鑑帖・譬喩品・上204頁)・高城弘一氏蔵無銘手鑑A(授記品・上302頁)・古筆学大成25卷－138図(東京国立博物館蔵・化城喩品・中52～54頁)
- (2)平成10年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－24(如来寿量品・下26～28頁・伝寂蓮筆)・『旧日向飫肥藩主伊東

子爵家所蔵品入札目録』(東美・昭和11年5月25日)－50古筆
手鑑帖(法師功德品・下104頁)・古筆学大成25卷－139図(弥
彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・法師功德品・下112頁)・集古帖51
(法師功德品・下118～120頁)

- ・行尹(世尊寺)－平成2年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－46和
漢古筆手鑑(第45回東西老舗大古書市出品目録抄－71・方便品・上74頁)・蓬
左53(方便品・上78頁)・古筆学大成25卷－140図(翰墨城227・方便品・上78～
80頁)・古筆学大成25卷－145図(見ぬ世の友163・方便品・上80～82頁)・『書』
(出光美術館蔵品図録)2－19(方便品・上86～88頁)・潮音堂書蹟典籍目録2号
－10(方便品・上90～92頁)・栗原蘆水氏旧蔵手鑑落葉集(ふくやま書道美術
館現蔵・方便品・上102頁)・古筆学大成25卷－146図(個人蔵手鑑古筆帖・方便
品・上106頁)・古筆学大成25卷－141図(個人蔵手鑑・方便品・上110頁)・古筆
学大成25卷－142図(個人蔵手鑑・方便品・上110頁)・古筆学大成25卷－147図
(鳳凰台123・方便品・上114頁)・古筆学大成25卷－143図(個人蔵大手鑑[重
文]・方便品・上120頁)・古筆学大成25卷－148図(根津美術館蔵一号手鑑・方
便品・上120頁)・古筆学大成25卷－144図(西円寺蔵古手鑑・方便品・上122
頁)・古筆学大成25卷－149図(M&Jパーク財団蔵手鑑・方便品・上124頁)・
金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(方便品・上130頁)
- ・行俊(世尊寺)－古筆学大成25卷－150図(個人蔵手鑑・觀世音菩薩普門品・下
242～244頁)
- ・慈円－(1)潮音堂書蹟典籍目録8号－121(譬喩品・第3種・上158～160頁)・古筆
学大成25卷－125図(個人蔵手鑑兔玉集[重美]・第1種・藥草喩品卷
首・上264頁)・古筆学大成25卷－126図(個人蔵手鑑筆翰・第1種・法
師品・中162頁)・古筆学大成25卷－127図(個人蔵・第2種・勸持品・中
228～230頁)・古筆手鑑4－64(第2種・從地涌出品・中290～292頁)・
古筆学大成25卷－128図(個人蔵・第2種・從地涌出品・中294頁)・第4
回大丸古書大即売展目録(昭和45年5月)－1122(第8回松坂屋古書
籍書画幅大即売会目録－677・第2種・如来寿量品・下12頁)・古筆学

大成25卷－129図(茂山文庫蔵手鑑翰墨城・第3種・如来神力品・下154～156頁)・古筆学大成25卷－134図(心画帖45・第3種・薬王菩薩本事品・下190頁)・古筆学大成25卷－131図(京都観音寺蔵手鑑29・第3種・妙音菩薩品・下216～218頁)・古筆学大成25卷－130図(永青文庫蔵手鑑・第3種・観世音菩薩普門品・下252頁)・古筆学大成25卷－135図(『古筆と楽代々展目録』〈東美・昭和45年1月〉・第3種・陀羅尼品・下272頁)・古筆学大成25卷－136図(『江州浅見家所蔵品入札目録』〈京美・昭和3年9月24日〉－89古筆手鑑・第3種・妙莊嚴王本事品・下302～304頁)・古筆学大成25卷－132図(個人蔵手鑑古筆之帖・高城弘一氏現蔵・第3種・妙莊嚴王本事品・下304～306頁)・古筆学大成25卷－133図(個人蔵・第3種・妙莊嚴王本事品・下306頁)・平成10年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－129(第2種・普賢菩薩勸発品・下334頁)

(2)古筆学大成25卷－137図(個人蔵手鑑もしの関・譬喩品・上140頁)・古筆手鑑5－38(譬喩品・上196～198頁・伝家隆筆)・聖護院蔵大手鑑(信解品・上260頁・極札欠)

- ・西行－古筆学大成25卷－116図(個人蔵・化城喩品・中10頁・経文原文との間に異同多)
- ・良経(後京極)－古筆学大成25卷－121図(M&Jパーク財団蔵手鑑藻鏡・序品巻首・上8頁)・古筆学大成25卷－117図(個人蔵手鑑・序品・上34頁)・古筆学大成25卷－122図(鳳凰台32・序品・上40頁)・古筆学大成25卷－118図(個人蔵手鑑浜千鳥・序品・上40～42頁・前掲切に後接)・古筆学大成25卷－119図(春敬記念書道文庫蔵手鑑筆鑑・序品・上50～52頁)・古筆学大成25卷－123図(個人蔵『木版本古筆手鑑』所載・梅園奇賞29〈伊井春樹氏・新藤協三氏「『梅園奇賞』所収古筆資料の影印・翻刻と解題』『調査研究報告』5)・序品・上52頁)・古筆学大成25卷－120図(醍醐寺蔵大手鑑・序品・上56頁)・古筆学大成25卷－124図(個人蔵・序品・上58頁)

[発心集(新潮日本古典集成『方丈記／発心集』の頁数)]

- ・不明一(1)《古本発心集か》落合博志氏蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録一61・『古筆への誘い』一62・134頁11行～135頁1行)・兼築信行氏蔵(同氏「『発心集』の古写断簡をめぐって」〈『中世文学』46)一断簡A・136頁5行～13行)・兼築信行氏蔵(同氏「『発心集』の古写断簡をめぐって」〈『中世文学』46)一断簡B・136頁13行～14行+283頁9行～11行・前掲切に後接)

[暮露々々の草子(『室町時代物語大成』12巻所収本の頁数)]

- ・光賢(烏丸)《抄出本か》一☆永青文庫蔵手鑑墨叢138(525頁上段17～18行+526頁下段13行～527頁上段1行)

[枕草子(岩波新古典文学大系『枕草子』の頁数)]

- ・道家(九条)一☆古筆学大成25巻一385函(個人蔵・188段・239頁・なお、当該切の出典の解明は、田中登氏の「物語古筆研究覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)の付章の中葉芳子氏のご指摘による、同氏によれば、やや「能因本」に近いとのことである→本稿「おわりに」参照)

[増鏡(岩波古典文学大系『神皇正統記／増鏡』の頁数)]

- ・義範(今川)一集古帖117(巻1・262頁)
- ・不明一筑波書店古書目録59号一28一(1)(巻1・262頁)
- ・後伏見院一古筆学大成24巻一122函(個人蔵手鑑古筆帖・巻16・458頁)

[末燈鈔(岩波古典文学大系『親鸞集／日蓮集』所収本の頁数)]

- ・実如(本願寺)一村上列氏蔵手鑑時代不同和歌帖(125頁)

[松浦宮物語(角川文庫『松浦宮物語』の頁数)]

- ・伏見院《散書》一『古筆聚成』一60(80頁15行～81頁6行・3紙継ぎ)

[弥陀名義抄(佚書)]

- ・通親(久我)一古筆学大成25巻一255函(巻首端作・翰墨城81)・★古筆学大成28巻伝源通親筆弥陀名義抄切一2(藤田美術館蔵手鑑野草芳)

[源家長日記(『源家長日記校本・研究・総索引』の頁数)]

- ・雅康(飛鳥井)一穂ノ国書店古書筆蹟類目録平成11年5月号一150(105～106

頁・「俊成卿九十賀記」の切である可能性あり)

[紫式部日記絵巻詞書(岩波新古典文学大系『土佐日記／蜻蛉日記／紫式部日記／更級日記』の頁数・萩谷朴氏「『紫式部日記』の古筆切と写本」(『古筆學叢林 3 古筆と源氏物語』)参照)]

- ・佐理(藤原)－古筆学大成24卷－139図(平安博物館蔵・『国宝紫式部日記絵巻と雅びの世界』〈徳川美術館・平成12年11月〉－7・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月〉－2・253頁)・『国宝紫式部日記絵巻と雅びの世界』〈徳川美術館・平成12年11月〉－8(平安博物館蔵〈萩谷朴氏旧蔵〉・254頁・伝三条実重筆)

[(仮名本)無量義経(大正蔵の頁数)]

- ・公任(藤原)－『野崎木村両家所蔵品入札目録』(東美・昭和10年5月6日)－196古筆手鑑(大正蔵9卷387頁中段か)・古筆学大成25卷－153図左4行(個人蔵・大正蔵9卷388頁上段)・古筆学大成25卷－151図(個人蔵手鑑・大正蔵9卷388頁中段)・古筆学大成25卷－155図(『松浦伯爵家並某家蔵器展覧入札目録』〈東美・昭和9年11月5日〉－47古筆手鑑・大正蔵9卷388頁中～下段)

[(仮名本)無量寿経(岩波文庫『浄土三部経(上)』所収の「無量寿経」の頁数)]

- ・聖光上人－中村健太郎氏蔵(巻上・154頁・伝慈円筆)・京都古書組合総合目録15号－1322(巻上・154頁・伝慈円筆・前掲切に後接)・思文閣墨蹟資料目録315号－49(巻上・159～160頁・伝明恵筆〈久曾神昇氏極め〉)・M&Jバーク財団蔵手鑑藻鏡(巻上・176～177頁)

[乳母の文(築瀬一雄氏『校註阿佛尼全集増補版』の頁数)]

- ・不明－(1)《略本系統》落合博志氏蔵(田渕句美子氏『阿仏尼とその時代』〈臨川書店・平成12年8月〉－187頁〈144～145頁〉)

[持氏記]→拙稿「太平記の古筆切について」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』

44)参照

[病草紙詞書(田中登氏「新出の病草紙詞書断簡について」〈『汲古』15)参照)]

- ・為教(京極)《香雪美術館蔵本のツレ》－続々国文学古筆切入門97・『関戸松下軒愛蔵品入札並売立目録』(名美・昭和8年2月8日)－4(亀脊の絵付属・詞書は

伝寂蓮筆)

[山路の露(『源氏物語外篇山路の露 本文と総索引』〈笠間索引叢刊113〉の頁数)]

- ・ 勾当内侍(後花園院)－☆玉海317(10頁7行～12行)・池田和臣氏蔵(徳武陽子氏「新出『山路の露』の古写断簡」〈『汲古』50〉・17頁2行～6行・伝後光厳院筆)・新春蔵開き第6回古書市出品目録抄(京王新宿店・平成18年1月)－A370(池田和臣氏現蔵・徳武陽子氏「新出『山路の露』の古写断簡」〈『汲古』50〉・26頁3行～8行・なお前掲の徳武氏論文では、「新春蔵開き第6回古書市出品目録抄」の図版で確認される「後花園院勾当内侍」とする了雪の極札に関する情報は無視されており、更に、池田氏蔵2葉が一連の伝後光厳院筆未詳物語切〈古筆学大成25巻－390図他〉と同筆であると断定されているが、稿者には両者は「別筆」であると思われ、「山路の露切」の推定書写時期も、徳武氏の推定された「後光厳院の生きていた南北朝期を下らない筆跡ではあろう」よりも幾分下降するものと考えている)

[大和物語]

- ・ 為家(藤原)－『平成新修古筆資料集 第3集』－70(田中登氏「物語古筆研究 覚書」〈久下裕利氏&久保木秀夫氏編『平安文学の新研究 物語絵と古筆切を考える』新典社、平成18年9月)－図版2・32段)
- ・ 為氏(二条)－久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－60図(5～6段・伝有家筆・岩波古典文学大系『大和物語』校異参照)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－61図(16～17段・伝有家筆)・竹柏園旧蔵(改造社日本文学講座3『物語小説篇上』・55～56段・伝慈円筆)・思文閣古書資料目録151号－56(58～59段・伝為氏筆)・古筆学大成23巻－100図(弥彦神社蔵手鑑見ぬ世の友・98～99段・伝覚源筆)・国文学古筆切入門82(春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月)－22・139段・伝不明)
- ・ 貫之(紀)－古筆学大成23巻－97図(個人蔵大手鑑[重文]・64段)・古筆学大成23巻－96図(昭和美術館蔵・平成13年10月大和文華館『特別展 国宝寝覚物語絵巻』－24・春日井市道風記念館『国文学と古筆』〈平成16年10月)－4・120

段・伝俊成筆)

- ・後水尾院一世々の友27(8～9段)・『当市木下家所蔵品第1回入札目録』(東美・大正6年2月5日)－226古筆手鑑帖(26～27段・雲紙)・今治市河野美術館手鑑藁叢25(39～40段)・古今墨林16(下絵・43段)・集古帖11(68～69段)・善光寺蔵大手鑑4(『善光寺本坊 大勸進寶物集』郷土出版社・72段)・盛岡市中央公民館蔵手鑑群英手巻(95段)・東山御文庫蔵手鑑毫海(103段)・古筆学大成23巻－101図(個人蔵手鑑・103段)・京都古書籍・古書画資料目録3号－1324(141段)・第6回大丸古書大即売展目録－222(柏林社書店古書目録平成8年4月号－17・150～151段)・第4回大丸古書大即売展目録－1091(152～153段)・平成元年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－52古筆手鑑桂花露香(156段)・『旧姫路藩男爵武井家蔵品入札目録』(京美・昭和3年7月2日)－120古筆手鑑(161段)・思文閣古書資料目録176号－12古筆手鑑(166～167段)・久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－63図(172段)・第3回たかしまや古書の街総合目録－22(174段)・★岡山美術館蔵古筆手鑑(下絵・付載説話・世々の友27の解説による)・★京都国立博物館蔵手鑑翰墨場12(未確認)
- ・後二条院一統国文学古筆切入門82(172段)
- ・光悦(本阿弥)－高城弘一氏蔵無銘手鑑B(71段)
- ・国冬(津守)《和歌省略本》－久曾神昇氏『物語古筆断簡集成』第1部－62図(155段)
- ・慈円－古筆学大成23巻－99図(個人蔵手鑑・8段)・高城弘一氏蔵無銘手鑑K(58段・伝為秀筆)
- ・了派(石井)－★横山家蔵古筆手鑑101(久保木哲夫氏「未刊手鑑『古筆切一覧』稿(三)」〈『和歌史研究会会報』98〉・65段)・★井上宗雄氏蔵手鑑34(小島孝之氏「井上宗雄氏所蔵古筆手鑑について」〈『立教大学日本文学』68〉・78～81段)・金刀比羅宮蔵手鑑古今筆陳(87～89段)・玉海285(114～118段)・高城弘一氏蔵(147段)・続々国文学古筆切入門79(147段)・★某氏蔵(168段・続々国文学古筆切入門79の解説による)・高城弘一氏蔵(171段・極札欠)

[唯信鈔文意(大正蔵の頁数)]

・親鸞—今治市河野美術館手鑑藁叢193(大正蔵83巻701頁中段)

[融通念仏縁起詞書(新修日本繪巻物全集別巻1『弘法大使傳繪巻／融通念佛縁起繪／槻峯寺建立修行縁起』の積文の頁数)]

・家良(衣笠)《系統未詳・各系統に見えない重要な字句の異同アリ》—『宮内庁協力皇室の至宝 東山御文庫御物2』(毎日新聞社・平成11年8月)—69古筆張交六曲小屏風(下巻・9段・48頁下段)

・他阿上人《繪付属切・甲類若しくは乙類・但し、両系統に見えない重要な字句の異同アリ》—☆翰墨城279(下巻・9段・49頁上段)・☆翰墨城280(下巻・9段・49頁上～中段・前掲切に後接)

・不明—(1)《繪付属切・甲類・クリーブランド美術館蔵本佚失部》—梅津次郎氏「融通念仏縁起繪巻」〈『繪巻物残欠の譜』〉—第3図(下巻・新修日本繪巻物全集別巻1別刷図版)

(2)《繪付属切・甲類》昭和39年5月三都古典連合会『古典籍展観大入札会目録』—34(上巻・3段・46頁上段)

(3)《繪付属切・甲類》『京都壹之橋伊藤家所蔵品入札目録』(京美・昭和8年5月15日)—71(下巻・3段・48頁上段+永正16年2月書写奥書)

(4)《繪付属切・丙類》平成2年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録—156(明德版本系統上巻第五段奥書部「康應元年十二月七日依良鎮上人／所望染筆物也 二條殿」)

[謡曲(『謡曲二百五十番集』所収本の頁数・なお、出典未解明の切であっても、恐らく「謡曲」の切であろうと思われる場合は収載した)]

・雅春(飛鳥井)—架蔵(鞍馬天狗・537頁上段)

・覚道法親王(仁和寺)—架蔵(昭君・518頁中段)

・季吉(滋野井)《極札不整合》—高城弘一氏蔵(隅田川・283頁上～中段)

・季春(四辻)—21th 丸善特選古書目録—51(落合博志氏現蔵〈平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録—53・『古筆への誘い』—54)・竹雪・315頁上段)

・久加(北郷)—思文閣古書資料目録171号—20島津家関係文書の内(通小町・

335頁下段)

- ・月樵(肖柏門弟)－京都古書籍・古書画資料目録7号－1512(松風・220頁上～中段)
- ・公維(徳大寺)－☆善光寺蔵大手鑑56(『善光寺本坊 大勸進寶物集』郷土出版社・絃上・606頁下段)・京都国立博物館蔵手鑑翰墨場28(絃上・606頁下段～607頁上段・前掲切に後接)
- ・光広(烏丸)－高城弘一氏蔵無銘手鑑E(撰待・382頁中段)
- ・黒雪斎(観世)《自筆花押入極書呼び継ぎ》－思文閣古書資料目録148号－117(白髭・40頁上段・2面続き右面)・思文閣古書資料目録148号－117(大社・42頁下段・2面続き左面)
- ・氏直(北条)－(1)光明皇后始手鑑101(松風・222頁中段)
 (2)☆玉海331(竹雪・317頁下段)
- ・氏政(北条)－★山内神社宝物資料館蔵古筆手鑑44(徳満澄雄氏「山内神社宝物資料館蔵『古筆手鑑』(甲)について〈前承〉」〈『高知女子大学紀要 人文・社会科学編』33)・松風・221頁中段)・今治市河野美術館手鑑藁叢287(松風・221頁中段・前掲切に後接)
- ・親一(観世)－高城弘一氏蔵(錦木・348頁中段)
- ・盛翁(福王)－思文閣古書資料目録148号－118(星曲)
- ・素庵(角倉)－柏林社書店古書目録平成7年5月号－8(三井寺・254頁上段)
- ・忠副(椀山助太郎)－『黎明館企画特別展さつまの和歌図録』(鹿児島県歴史資料センター黎明館・平成元年7月)－52薩藩古墨痕亀鑑(田村・100頁中段)
- ・長諳(楠)－(1)架蔵(表面・松虫・347頁下段・伝鳥飼長庵筆)・架蔵(裏面・松虫・347頁下段・伝鳥飼長庵筆・前掲切に後接)・☆披香殿313(小督・403頁中段)
 (2)高城弘一氏蔵(桜川・258頁上段)
- ・冬康(安宅)－☆『浄照坊蔵古筆切集』－91(鶴羽・新潮日本古典集成『謡曲集上』91頁)
- ・道勝法親王(聖護院)－架蔵(頼政・122頁下段)・古今墨林137(頼政・123頁下

段)

- ・武久(新納近江守)－『黎明館企画特別展さつまの和歌図録』(鹿児島県歴史資料センター黎明館・平成元年7月)－52薩藩古墨痕亀鑑(采女・157頁下段)
- ・房通(一条)－☆玉海61(杜若・188頁中段)・久曾神昇氏蔵(誓願寺・194頁上段・日比野浩信氏のご教示による)・架蔵(誓願寺・194頁上～中段・前掲切に後接)・かうなや目録『拾遺鶏肋』4号(平成10年10月)－39(誓願寺・194頁下段)・石川県美術館蔵手鑑40(誓願寺・194頁下段・前掲切に後接)・栗原蘆水氏旧蔵(ふくやま書道美術館現蔵・唐船・462頁上～下段)・蓬左30(錦戸・488頁上段)・☆永青文庫蔵手鑑墨叢40(不明)
- ・幽斎(細川)－光明皇后始手鑑29(卒都婆小町・331頁下段)
- ・龍伯(島津)－平成4年度東京古典会古典籍下見展観大入札会目録－116御手鑑(卒都婆小町・331頁上段)
- ・木下豊前守－☆島根美保神社蔵手鑑267(白髭・40頁下段)
- ・不明－(1)九州大学附属図書館支子文庫蔵手鑑汲古帖(松風・222頁上段)
(2)九州大学附属図書館支子文庫蔵手鑑汲古帖(二人静・179頁下段)
(3)架蔵(三輪・211頁上段・当該切の出典の解明は三浦俊介氏のご教示による)
(4)高城弘一氏蔵手鑑古今筆鑑(羽衣・198頁上段)
(5)佐々木孝浩氏蔵(当麻・612頁中段)
(6)かうなや目録『拾遺鶏肋』5号(平成11年4月)－168(表裏切・善知鳥・340頁上～中段・図版掲載は裏面のみ)
(7)高城弘一氏蔵無銘手鑑F(朝顔・新潮日本古典集成『謡曲集 上』37頁)

[横川法語]

- ・信尹(近衛)－『松屋銀座店古今名家書蹟絵画二百選目録』(昭和55年1月)－66(岩波古典文学大系『仮名法語集』収載本と比較すると途中より省筆及び改変あり)

[来迎和讃(『釈教歌詠全集5』の頁数・小野恭靖氏「古筆切和讃資料三種」〈『中世

歌謡の文学的研究』参照)]

・行尹(世尊寺)－古筆学大成25卷－261図(白鶴美術館蔵手鑑198・319頁中段)
[隆達節歌謡(小野恭靖氏『「隆達節歌謡」の基礎的研究』及び『「隆達節歌謡」全
歌集 本文と総索引』参照、後者の一連番号により示す、なお、右両書に未登録
のものには「◎」を付した、また、本稿では、前掲の小野氏の膨大な調査集成
データの中から、古筆切研究の立場から適宜取捨選択した)]

・月樵(肖柏門弟)－◎久曾神昇氏蔵(473・ナシ・ナシ・ナシ〈系統未詳〉・日比野
浩信氏のご教示による)

・秀忠(徳川)－『長松庵金子家某家所蔵品入札目録』(東美・昭和14年6月20日)
－18(『日本書蹟大鑑』15巻－23参照・149・178〈抄出本か〉小野氏分類略号◎)

・隆達－(1)《墨譜次行一字下げ切》東山御文庫蔵手鑑毫海(97・47・377・454〈年
代不詳三百首本255～258〉小野氏分類略号u)・★上野学園日本音
楽資料室蔵(309・362・116〈年代不詳三百首本266～268〉小野氏分類
略号a)

(2)《墨譜次行一字下げ切》◎高城弘一氏蔵無銘手鑑A(419・315〈天理
図書館蔵文禄二年九月江川甚左衛門尉宛百首本62～63〉→小野恭
靖氏『「隆達節歌謡』未紹介資料・補遺(七)』〈『大阪教育大学紀要 I
(人文科学)』51－1〉参照)

(3)《墨譜次行同字高切》玉海288(521〈当該切独自新出歌〉・504・102・72
〈系統未詳〉小野氏分類略号w)・◎★村上列氏蔵手鑑まさごの鶴96
(ナシ・306・ナシ〈系統未詳〉)

(4)《墨譜次行同字高極大本(巻物)切》田中登氏蔵(226〈当該切独自新
出歌〉・227〈当該切独自新出歌・系統未詳〉小野氏分類略号d)

(5)《無墨譜下絵切》★兼築信行氏蔵(元手鑑「恩故帖」収載・100・242〈年
代不詳三百首本81～82〉小野氏分類略号c)・筆陣毫戦228(447・
413・9〈年代不詳三百首本111～113〉→小野恭靖氏『「隆達節歌謡』未
紹介資料・補遺(七)』〈『大阪教育大学紀要 I (人文科学)』51－1〉参
照)・★兵庫県某家蔵古筆貼交屏風(116・497・498・421〈年代不詳三

百首本268～271)小野氏分類略号 x)

(6)《無墨譜無下絵藍紙切》◎思文閣古書資料目録168号(善本特集12輯)－16古筆手鑑(459・453・295・373〈年代不詳三百首本25～28〉)→小野恭靖氏「『隆達節歌謡』未紹介資料・補遺(七)」〈『大阪教育大学紀要 I (人文科学)』51－1〉参照)・古今墨林152(397・228・148・241〈年代不詳三百首本77～80〉小野氏分類略号 v)

(その他雜纂)山田庄一氏藏年代不詳興意宛五首断簡(186・468・488・161・155・小野氏分類略号 S)→平成17年度東京古典会古典籍展観大入札会目録－67)・山田庄一氏藏年代不詳七月三日淀屋善三宛二首断簡(503・296・小野氏分類略号 ⑤)→平成17年度東京古典会古典籍展観大入札会目録－66)

(図版未確認切雜纂)★田中登氏藏2面継ぎ左面(272・259・236〈系統未詳)小野氏分類略号 r)・★田中登氏藏2面継ぎ右面(114・467・335〈系統未詳)小野氏分類略号 r)・★早稲田大学図書館蔵(347・385・443〈系統未詳)小野氏分類略号 z)・★芦屋釜19(318〈系統未詳)小野氏分類略号 ⑥)・★逸翁美術館蔵(135・92・476・273・398・235・49〈系統未詳)小野氏分類略号 q)・★前田長三郎氏旧蔵(堺市博物館寄託・214・418・471・446・350〈天理図書館蔵文禄二年九月江川甚左衛門尉宛百首本96～100・年代不詳三百首本237～241)小野氏分類略号 K)・★佐佐木信綱氏旧蔵(290・430・26・21〈天理図書館蔵文禄二年九月江川甚左衛門尉宛百首本92～95・年代不詳三百首本233～236)小野氏分類略号 t)・★出口神曉氏蔵(7・175・261〈系統未詳)小野氏分類略号 y)・★英十三氏旧蔵(208〈系統未詳)小野氏分類略号 ⑦)

[梁塵秘抄(岩波新古典文学大系『梁塵秘抄／閑吟集／狂言歌謡』所収本の一連番号〈口伝抄については頁数)・古谷稔氏「後白河法皇の仮名書法と『梁塵秘抄断簡』」(『MUSEUM』563)参照)]

・為相(冷泉)《『國學院大學図書館蔵 武田祐吉博士旧蔵善本解題』－17の零

巻のツレ→小島孝之氏「塵も積れば山となるか?—古筆切拾塵抄(1)—」(『立教大学日本文学』47)に指摘アリ》—昭和52年9月西部古書展示即売会目録—48古筆手鑑筆鑑(口伝抄巻10・154頁)

- ・寂蓮—古筆学大成24巻—263図(穂久迹文庫蔵・『特別展 文学・古筆にみる美の世界 日本の古典』〈名古屋市博物館・平成元年9月〉—115・巻2・208)・上野学園日本音楽資料室蔵(伝通光筆・散佚部)・古筆学大成24巻—264図(心画帖44・口伝抄散佚部)・高まつ帖55(伝通光筆・口伝抄散佚部)

[(仮名本)臨終講式(三田全信氏「『臨終講式』について」〈『仏教文化研究』15)の頁数)]

- ・真教(遊行二代)—八勝堂書店古書目録10号—69(57頁下段)

[簾中抄(冷泉家時雨亭叢書48『簾中抄・中世事典・年代記』の頁数)]

- ・慈円—中村健太郎氏蔵(83頁)

[若草物語(『室町時代物語大成』13巻所収本の頁数)]

- ・定実(世尊寺)—東山御文庫蔵手鑑(〈慶応大学図書館蔵写本〉巻上・624頁下段の「ひまもなく」の和歌を有するが、直後の地の文は大きく異なっており、伝称筆者の年代や若草物語が『世をうち川』の改作であろうと推定されている点などを勘案すると、当該切は『世をうち川』の切であるとの可能性も考えられる)

[(仮名本)和漢朗詠集]

- ・道家(九条)&為家(藤原)—中村健太郎氏蔵(462初句～結句・二種の異なる伝称筆者を示す裏書あり)

[和讃(時宗系統和讃・武石彰夫氏『仏教歌謡集成』所収金蓮寺蔵「和讃」の頁数・小野恭靖氏「古筆切和讃資料三種」及び「伝法守法親王筆古筆切仏教歌謡資料考」〈『中世歌謡の文学的研究』〉参照・なお、前掲の小野氏の論文に未登録のものには「◎」を付した)]

- ・向阿(浄花院)—陽明文庫蔵大手鑑(下)151(切右2行は七言四句の偈、左2行が和讃・583頁上段1行～2行・小野氏は「時衆宗御和讃」の冒頭を書写したものと推定されている)

- ・素眼(四条道場)－(1)◎金沢市立中村記念美術館蔵古筆手鑑158(549頁上段10行～下段1行)
- (2)《散書》あけぼの(下)56(531頁下段2行～6行／531頁上段9行～13行)
- ・法守法親王(仁和寺)《仏餉切》－石川県美術館蔵手鑑170(537頁下段16行～538頁上段2行)・『平成新修古筆資料集 第1集』－16(539頁上段5行～8行)・国文学古筆切入門77(539頁上段13行～16行)・橘樹文庫蔵(平成16年11月国文学研究資料館秋季特別展「古筆と和歌」展示目録－51・『古筆への誘い』－52・540頁上段4行～7行)・高まつ帖118(541頁上段14行～17行)・永青文庫蔵手鑑墨叢66(不明)

おわりに

「仮名散文」関連の古筆切の出典解明については、いち早くその体系的な整理に着手された藤井隆氏の先駆的業績(「物語系古筆切について(一)～(三)」『名古屋大学国語国文学』7・8・14)以降、伊井春樹氏及び高田信敬氏の『古筆切提要』、伊井氏の『古筆切資料集成』、小松茂美氏の『古筆学大成』などの体系的な整理が提示されており、個別論の次元でも、恐らく『古筆学大成』の刊行以前になされた特定の古筆切の本文集成としては、久保田淳氏及び松野陽一氏の「日野切」(『千載和歌集』笠間叢書17)と並んで驚異的な博搜結果を提示する『諸本対照三寶繪集成』は特筆され、更に、田中登氏や小野恭靖氏もその時点では出典未解明であった数多の仮名散文の古筆切の出典を解明されており、その他にも本稿に引用した参照論文などによる数多くの業績が積み重ねられてきた。しかしながら、それでもなお、「仮名散文」関連の古筆切の出典解明の現状を端的に示す事例を一つ挙げるとすれば、本稿の「枕草子」の項目に引用した、中葉芳子氏による「平成18年9月」の時点での『古筆学大成』25巻－385図に「未詳物語切」として掲載されているものが、実は「枕草子」を出典とする旨の報告であろうかと思われる。かく申す稿者自身も、古写本に乏しい「枕草子」の諸伝本の状況から、古筆切との接点は希薄であろうとの先入観に支配され当

該切の出典には全く気付いていなかったというのが正直なところである。また、稿者に直接関わる事例としても、「はじめに」の久保木氏の短評中に引用されている拙稿「源氏物語関係古筆切資料集成稿」の時点では、『古筆学大成』25巻-381図に「未詳歌学書切」として掲載されているものが、大橋寛治氏蔵定家自筆二次本奥入(日本古典文学影印叢刊19)の佚失部に相当することを看過するとの失態を犯している点に脱稿後気付いたという体たらくである。恐らく、本稿の内容自体も、「個人の手作業」ゆえの不完全さは至る所に残存していることは不可避であり、将来のより精度の高い「出典判明仮名散文関係古筆切一覧」作成への「始発点」に他ならず、諸先学の本稿の「不備・遺漏」に関するご示教をお願い申し上げたい。

[付記] 本稿の作成に際して、高城弘一氏、村上列氏、佐々木孝浩氏、中村健太郎氏などをはじめとして、貴重な個人蔵の古筆切の情報を提供していただいた方々に衷心より御礼申し上げます。